

科目名	関係法規・制度					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	星 考司		実務授業の有無			
対象学科	美容	対象学年	2年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30	
授業概要、目的、授業の進め方	授業は座学形式で合同授業で2年次にて以下の内容を習得する。 1. 美容師法を含む関係法規を理解する 2. 法制度の概要・衛生行政の概要・美容師法・関連法規の全4編を学ぶ					
学習目標 (到達目標)	・美容師国家試験(筆記)の取得レベルの知識を身につけるとともに、美容師として必要な法律の知識を学び現場で活かせることを目標とする。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	・日本理容美容教育センター出版：関係法規・制度 ・理容師美容師筆記試験問題と解答、解説 ・その他、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	第1章 法制度の概要 ・社会生活における法の役割・法の形式 ・衛生法規の概要 ・理容法、美容師法と附属法令			座学形式、指定教科書 (P7～20) の過去の国家試験出題 個所へのアンダーライン・板書		
2	第2章 衛生行政の概要 ・衛生行政の意義と歴史(行政とは何か・衛生行政の意義・我が国における衛生行政の歴史)			座学形式、指定教科書 (P21～26) の過去の国家試験出題 個所へのアンダーライン・板書		
3	衛生行政の分類と生活衛生行政の内容 (行政の分類・生活衛生行政)			座学形式、指定教科書 (P27～29) の過去の国家試験出題 個所へのアンダーライン・板書		
4	衛生行政を担う行政機関 (一般行政の仕組み・厚生労働省の役割・都道府県及び市町村の役割・保健所の役割と機構)			座学形式、指定教科書 (P30～36) の過去の国家試験出題 個所へのアンダーライン・板書		
5	確認テスト①			前項の理解確認と復習のための小テストと解答・解説		
6	第3章 理容師法・美容師法 ・目的・用語の定義(美容師法の用語の定義)			座学形式、指定教科書 (P37～51) の過去の国家試験出題 個所へのアンダーライン・板書		
7	人(理容師・美容師)に関する規定① ・概説・養成施設の入所資格・試験・免許と登録			座学形式、指定教科書 (P52～75) の過去の国家試験出題 個所へのアンダーライン・板書		
8	人(理容師・美容師)に関する規定② ・理容師、美容師の義務・業務停止、免許取消及び再免許・管理理容師、管理美容師			座学形式、指定教科書 (P75～93) の過去の国家試験出題 個所へのアンダーライン・板書		
9	施設(理容所・美容所)に関する規定 ・理容所、美容所・理容所、美容所の開設、解説者が講ずべき衛生措置・理容所、美容所、以外での業務)			座学形式、指定教科書 (P94～112) の過去の国家試験出題 個所へのアンダーライン・板書		
10	確認テスト②			前項の理解確認と復習のための小テストと解答・解説		
11	立入検査と環境衛生監視員 違反者に対する行政処分(不利益処分を行う場合の手続き・違法または不当な処分等についての審査請求) 罰則 (罰則について・理容師法、美容師法の罰)			座学形式、指定教科書 (113～128) の過去の国家試験出題 個所へのアンダーライン・板書		
12	関連法規 ・理容業・美容業の運営に関する法律 ・理容業・美容業の衛生に関する法律 ・理容業・美容業の顧客に関する法律			座学形式、指定教科書 (129～1138) の過去の国家試験出題 個所へのアンダーライン・板書		
13	参考資料 ・理容師法、美容師法の構成 ・理容師法、美容師法の歴史			座学形式、指定教科書 (129～1139) の過去の国家試験出題 個所へのアンダーライン・板書		
14	定期テスト範囲対策			座学形式、指定教科書及び確認テストの回答・解説を参考に復習		
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				美容師を目指す上で、美容師法の理解は必要不可欠である。法律の成り立ちから、美容師養成施設・免許取得、業務に関する場罰則等、将来においても理解しなければならない。定期試験、国家試験に向けて、確認テスト、教科書重要個所の復習をしっかりと実施する。		
実務経験教員の経歴						

科目名	衛生管理 【対面授業と遠隔授業の併用実施】				
担当教員	小林未来		実務授業の有無		
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	授業は座学形式で合同授業で1～2年間通年で以下の内容を習得する。 1. 衛生専門課程でもある美容師の衛生分野の知識を学ぶ 2. 公衆衛生・環境衛生・感染症・衛生管理技術の全4編を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	・美容師国家試験(筆記)の取得レベルの知識を身につけるとともに、美容師として必要な感染症、消毒方法の知識を学び現場で活かせることを目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	・日本理容美容教育センター出版：衛生管理 ・理容師美容師筆記試験問題と解答、解説 ・その他、補助プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第1編 公衆衛生 ・第1章公衆衛生の概要 公衆衛生の意義と課題・公衆衛生発展の歴史		座学形式、指定教科書(P7～14)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
2	理容師・美容師と公衆衛生・保健と理容業と美容業		座学形式、指定教科書(P15～19)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
3	第2章 保健(母子保健・成人、高齢者保健・精神保健)		座学形式、指定教科書(P20～39)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
4	第2章 環境衛生 第1章 環境衛生 環境衛生の内容・環境衛生の目的と意義・環境衛生活動		座学形式、指定教科書(P41～45)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
5	空気環境・衣服、住居の衛生		座学形式、指定教科書(P46～59)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
6	上下水道と廃棄物 ・衛生害虫とネズミ		座学形式、指定教科書(P60～68)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
7	環境保全 ・定期テスト範囲対策		座学形式、指定教科書(P69～72)をもとに重要カ所にアンダーライン ・対策プリントにて復習		
8	第3編 感染症 ・第1章 感染症の総論 人と感染症 (感染症発見の歴史、感染症と法律・分類)		座学形式、指定教科書(P73～81)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
9	病原微生物 (微生物の種類、形と大きさ、構造、増殖と環境の影響)		座学形式、指定教科書(P82～87)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
10	感染症予防 (微生物の病原性と人体の感受性・汚染感染発病・錠剤細菌叢・免疫と予防接種、感染症発生の要因・感染症予防の3原則)		座学形式、指定教科書(P88～100)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
11	第2章 感染症の各論 ・理容、美容と感染症 主な感染症(微生物の病原性と人体の感受性・飲食物、血液等、動物、節足動物を介して感染する感染症)		座学形式、指定教科書(P103～122)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
12	具体的な対策の例		座学形式、指定教科書(P123～128)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
13	第4編 衛生管理技術 ・第1章 消毒法総論(消毒とは・消毒の意義)		座学形式、指定教科書(P129～134)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
14	理容・美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意)		座学形式、指定教科書(P135～147)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
15	第2章 消毒法各論 理学的消毒法・化学的消毒法・優れた消毒法とその実施上の注意)		座学形式、指定教科書(P148～166)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
16	第3章 消毒法実習 ・各種消毒薬・理容所、美容所の消毒の実際		座学形式、指定教科書(P167～197)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
17	第5編 衛生管理の実践例・理容所、美容所における衛生管理要領・理、美容所の自主的管理点検		座学形式、指定教科書(P198～234)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
18	定期テスト範囲対策		座学形式、指定教科書及び補助テキストを参考に対策プリントにて復習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			美容師にとってお客様、スタッフ、そして自分の生を衛ることが重要ある事を認識する事。各章毎での重要カ所を教科書アンダーライン、補助プリントへの記入をすること。また定期テスト、国家試験に向けての対策プリントの復習も必要です。		
実務経験教員の経歴					

科目名	保健					【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	須佐 翼・松木 達彦			実務授業の有無			
対象学科	美容		対象学年	2年間		開講時期	通年
必修・選択	必須		単位数	—		時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	1、人体の構造や機能について頭頸部を中心に学び、理解を深める 2、皮膚とその付属器官について詳細を学ぶ						
学習目標 (到達目標)	人体の構造・皮膚科学を中心に学び、美容師業務の特徴である頭皮・毛髪・肌の健康管理ができる知識と技術、特に皮膚や毛髪に関し深く理解する（国家試験取得レベルの知識習得）						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	公益財団法人 日本理容美容教育研修センター 保健 その他 オリジナル補助テキスト						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1	頭部、顔部、頸部の体表解剖学			座学形式、指定教科書（P12～21）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
2	骨格器系			座学形式、指定教科書（P22～29）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
3	筋系			座学形式、指定教科書（P30～37）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
4	神経系			座学形式、指定教科書（P38～41）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
5	感覚器系			座学形式、指定教科書（P42～47）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
6	血液・循環器系			座学形式、指定教科書（P48～55）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
7	呼吸器系			座学形式、指定教科書（P56～59）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
8	消化器系			座学形式、指定教科書（P60～65）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
9	皮膚の構造			座学形式、指定教科書（P68～77）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
10	皮膚付属器官の構造			座学形式、指定教科書（P78～89）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
11	皮膚の循環器系と神経系			座学形式、指定教科書（P90～93）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
12	皮膚と皮膚付属器官の生理機能			座学形式、指定教科書（P94～107）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
13	皮膚と皮膚付属器官の保健			座学形式、指定教科書（P108～131）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
14	皮膚と皮膚付属器官の疾患			座学形式、指定教科書（P132～181）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
15							
16							
17							
18							
評価方法・成績評価基準				履修上の注意			
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				頭頸部の解剖学的な構造、生理学的な構造を学ぶことでより良いデザインをうみだしていける様にする。薬剤を扱うので頭皮・毛髪の知識をしっかり身につけること。教科書へのアンダーラインは勿論のこと、補助テキストへの記入もしっかり行うこと。			
実務経験教員の経歴							

科目名	化粧品化学 【対面授業と遠隔授業の併用実施】				
担当教員	八木 小聖		実務授業の有無		
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	授業は座学形式で合同授業で1～2年間通年で以下の内容を習得する。 1. 美容師として必要Bなの化粧品及び化学基礎の知識を学ぶ 2. 化粧品概論・原料・基礎、メイクアップ・頭皮、毛髪用化粧品・芳香製品・化学基礎を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	・美容師国家試験(筆記)の取得レベルの知識を身につけるとともに、 美容師として必要な化粧品の成分、使用方法の知識を習得し、現場で活かせることを目標とする。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	・日本理容美容教育センター出版：化粧品化学 ・理容師美容師筆記試験問題と解答、解説 ・その他、補助プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第1章 化粧品概論 ・化粧品の社会的意義と品質特性(意義・必要条件)・化粧品の規制(定義・製造販売・品質・表示&広告)		座学形式、指定教科書(P9～22)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
2	・化粧品の安全性と取り扱い上の注意(安定性・経時変化・使用上の取り扱いの注意)・化粧品と安全性(安全性・表示成分と安全性・トラブル)		座学形式、指定教科書(P24～30)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
3	第2章 化粧品用原料 ・化粧品の対象となる人体各部の性状(種類と機能・皮膚と水・頭皮、毛髪の健康な状態・爪の性状・まぶたや口唇の性状・化粧品の成立)		座学形式、指定教科書(P31～40)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
4	・水性原料(水・エタノール)・油性原料(油脂・ロウ類・炭化水素・その他・油性原料の機能)・界面活性剤(基本性質・種		座学形式、指定教科書(P41～62)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
5	・色材(色材と化粧品・無機顔料・有機合成色素・光輝性顔料・天然色素)・香料(香料と化粧品・種類・調合香料)		座学形式、指定教科書(P63～73)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
6	・その他の配合成分(品質保持に求められる配合成分・化粧品が与える機能・特殊成分)・ネイル、まつ毛エクステンション用材料(合成樹脂・接着剤・塗料)		座学形式、指定教科書(P74～84)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
7	第2章 基礎化粧品 ・皮膚清浄用化粧品(皮膚の汚れと清浄作用・石鹸の種類と性質・その他)・化粧水(種類と機能)・クリーム、乳液(皮膚への影響・種類と機能)		座学形式、指定教科書(P85～100)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
8	・その他の化粧品(シェービング・化粧液・打粉・パック剤) ※確認テスト①		座学形式、指定教科書(P101～103)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入 ※前項迄の理解確認と復習のための小テストと解答・解説		
9	第4章 メイクアップ化粧品 ・種類と剤形 ・ベースメイクアップ化粧品(おしろい・ファンデーション類)・ポイントメイクアップ化粧品(紅類・化粧品・ネイル技術用)		座学形式、指定教科書(P104～122)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
10	第5章 頭皮、毛髪化粧品 ・シャンプー剤(ヘアリンス剤・ヘアトリートメント)・スタイリング剤(機能・油性・液状・高分子物質を基剤とするもの)		座学形式、指定教科書(P124～135)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
11	・パーマ剤(原理・分類・第1剤・第2剤・使用上の注意)・ヘアカラー剤(種類と染毛メカニズム・一次染毛料・半永久染毛料・脱色剤、脱染剤・使用上の注意・その他)・育毛剤(脱毛の原因・種類と機能・原料)		座学形式、指定教科書(P136～156)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
12	第6章 芳香製品と特殊化粧品 ・芳香製品(香水・オーデコロン・その他・使用上の注意) ・特殊化粧品(サンケア・美白用・制汗、防臭剤・ニキビ用)		座学形式、指定教科書(P157～164)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
13	化粧品を理解するための基礎化学		座学形式指定教科書(付録1～17)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
14	確認テスト②		定期試験前の理解確認と復習のための小テストと解答・解説		
15					
16					
17					
18					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。		薬剤を使用する美容師にとって化粧品の知識は必要不可欠です。頭皮等のトラブルにつながる可能性を理解し、各章毎の重要カ所を教科書アンダーライン、補助プリントへの記入をすること。また定期テスト、国家試験に向けての対策プリントの復習も必要です。			
実務経験教員の経歴					

科目名	文化論					【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	鈴木明美 佐藤留美子			実務授業の有無			
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年		
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60		
授業概要、目的、授業の進め方	授業は座学形式で合同授業で1～2年間通年で以下の内容を習得する。 ・美容師国家試験（筆記）課題科目でもあることから対策授業も実施						
学習目標 (到達目標)	・美容師国家試験（筆記）の取得レベルの知識を身につける ・美容の歴史をはじめ、ファッションとの関係性、流行等の知識を学ぶ。						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	・日本理容美容教育センター出版：文化論 ・理容師美容師筆記試験問題と解答、解説 ・その他、補助プリント						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1	第1章 総論 第1節 総論			座学形式、指定教科書（P5～8）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
2	第2章 日本の理容業・美容業の歴史 第1節 理容業・美容業の発生 第2節 江戸時代の理容業・美容業			座学形式、指定教科書（P9～16）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
3	第3節 近代の理容業・美容業 第4節 現代の理容業・美容業			座学形式、指定教科書（P17～24）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
4	第3章 ファッション文化史 日本編 第1節 縄文・弥生・古墳時代 第2節 古代			座学形式、指定教科書（P9～39）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
5	第3節 中世 第4節 近世Ⅰ			座学形式、指定教科書（P40～48）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
6	第5節 近世Ⅱ 第6節 近代			座学形式、指定教科書（P49～83）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
7	第7節 現代Ⅰ 第8節 現代Ⅱ			座学形式、指定教科書（P84～97）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
8	第9節 現代Ⅲ 第10節 現代Ⅳ			座学形式、指定教科書（P98～106）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
9	第4章 ファッション文化史 西洋編 第1節 古代エジプト 第2節 古代ギリシャ・ローマ			座学形式、指定教科書（P107～112）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
10	第3章 古代ゲルマン 第4節 中世ヨーロッパ			座学形式、指定教科書（P113～119）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
11	第5節 近世Ⅰ 第6節 近世Ⅱ			座学形式、指定教科書（P120～127）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
12	第7節 近世Ⅲ 第8節 近代Ⅰ			座学形式、指定教科書（P128～133）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
13	第9節 近代Ⅰ 第10節 近代Ⅰ			座学形式、指定教科書（P134～142）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
14	第11節 近代Ⅰ 第12節 近代Ⅲ			座学形式、指定教科書（P143～148）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
15	第13節 近代Ⅳ 第14節 近代Ⅴ			座学形式、指定教科書（P149～157）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
16	第15節 近代Ⅵ 第16節 近代Ⅶ			座学形式、指定教科書（P158～162）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
17	第5章 礼装の種類			座学形式、指定教科書（P163～170）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入			
18							
評価方法・成績評価基準				履修上の注意			
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				歴史において、理容・美容がかかわってきた事を学ぶことで美容師としての美の成り立ちやあり方の理解を深める。教科書へのアンダーラインは勿論のこと、補助テキストへの記入もしっかり行うこと。			
実務経験教員の経歴							

科目名	美容技術理論					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	佐藤留美子・須佐翼・岡村智代美・近早苗			実務授業の有無	○	
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	150	
授業概要、目的、授業の進め方	授業は座学形式で合同授業で1～2年間通年で以下の内容を習得する。 1. 毛髪の知識や各種器具の使用方法、多種多様の美容技術の知識を学ぶ 2. 美容師国家試験（筆記）課題科目でもあることから対策授業も実施					
学習目標（到達目標）	・美容師国家試験（筆記）の取得レベルの知識を身につけるとともに、美容師として必要な美容技術・各種器具・毛髪の知識等を学び現場で活かせることを目標とする。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	・日本理容美容教育センター出版：美容技術理論 ・理容師美容師筆記試験問題と解答、解説 ・その他、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	美容技術理論 1 序章			座学形式、指定教科書（P4～10）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
2	美容技術理論 1 第1章 美容用具			座学形式、指定教科書（P14～33）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
3	美容技術理論 1 第2章 シャンプーイング			座学形式、指定教科書（P34～63）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
4	美容技術理論 1 第3章 ヘアデザイン			座学形式、指定教科書（P64～65）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
5	美容技術理論 1 第4章 ヘアカットング			座学形式、指定教科書（P86～117）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
6	定期テスト範囲対策			座学形式、指定教科書及び補助テキストを参考に対策プリントにて復習		
7	美容技術理論 1 第5章 パーマネントウェービング			座学形式、指定教科書（P126～155）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
8	美容技術理論 1 第6章 ヘアセッティング			座学形式、指定教科書（P158～218）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
9	美容技術理論 1 第7章 ヘアカラーリング			座学形式、指定教科書（P220～242）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
10	定期テスト範囲対策			座学形式、指定教科書及び補助テキストを参考に対策プリントにて復習		
11	美容技術理論 2 第8章 エステティック			座学形式、指定教科書（P4～32）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
12	美容技術理論 2 第9章 ネイル技術			座学形式、指定教科書（P36～64）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
13	美容技術理論 2 第10章 メイクアップ			座学形式、指定教科書（P72～104）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
14	美容技術理論 2 第11章 日本髪			座学形式、指定教科書（P112～134）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
15	美容技術理論 2 第12章 着付けの理論と技術			座学形式、指定教科書（P134～174）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
16	定期テスト範囲対策			座学形式、指定教科書及び補助テキストを参考に対策プリントにて復習		
17	国家試験対策			座学形式、指定教科書及び補助テキストを参考に対策プリントにて復習		
18	国家試験対策			座学形式、指定教科書及び補助テキストを参考に対策プリントにて復習		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				美容師としてお客様に「技術と心」を提供する為に必要となる、基礎的技術と理論を学ぶ。その上で必須となる国家試験取得を目指す。各章毎での重要カ所を教科書アンダーライン、補助プリントへの記入をすること。また定期テスト、国家試験に向けての対策プリントの復習も必要です。		
実務経験教員の経歴				各教員それぞれ美容師として美容現場で5～12年携わっており、美容技術の基本に加え、現場知識もプラスしての実践的知識の指導が可能である。		

科目名	運営管理 【対面授業と遠隔授業の併用実施】				
担当教員	関 雪花		実務授業の有無	○	
対象学科	美容	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	授業は座学形式で合同授業で1年次に以下の内容を習得する。 1. 経営者の考えや経営者が果たす責任・役割を学ぶ 2. 「経営者の視点・人という資源、従業員としての視点・顧客のために」の全3編を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	・美容師国家試験(筆記)の取得レベルの知識を身につけるとともに、 将来の経営者としての知識を学び未来で活かせることを目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	・日本理容美容教育センター出版：運営管理 ・理容師美容師筆記試験問題と解答、解説				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第1章 経営者の視点 ・経営とは・経営者とは (経営が必要とされる理由・経営が難しい理由・経営とは何か)		座学形式、指定教科書(P11~17)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
2	経営資源と経営計画・経営戦略・経営者が目指すもの)		座学形式、指定教科書(P18~23)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
3	理容業・美容業の経営について・業界の概要・競争の変化・サービスとしての理容美容・理容業、美容業の顧客について		座学形式、指定教科書(P24~31)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
4	資金の管理(資金管理・収益と損益・会計の考え方・コスト管理・税金)		座学形式、指定教科書(P32~42)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
5	確認テスト①		前項の理解確認と復習のための小テストと解答・解説		
6	第2編 人という資源 従業員としての視点 人という資源とは・能力を高める・やる気にさせる ・給与・待遇、福利厚生・労働者の権利		座学形式、指定教科書(P43~55)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
7	健康・安全な職場環境の実現 ・健康管理・理容美容の仕事と健康・理容業、美容業に特徴的な健康問題・作業環境の健康問題		座学形式、指定教科書(P56~63)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
8	従業員としての視点から (従業員としての責任・社会保険①②③・キャリアプラン)		座学形式、指定教科書(P64~82)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
9	第3編 顧客のために ・サービスデザイン(顧客が求める価値・価値の実態・顧客満足の実現・最も重要な価値(人)・価値の多様性・サービスの範囲)		座学形式、指定教科書(P83~95)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
10	マーケティング ・理美容師のマーケティング・マーケティングミックスの要因 短期的要因①② 長期的要因①②・サービスのシステム化		座学形式、指定教科書(P96~111)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
11	サービスにおける人の役割 ・接客についての理解・良い接客のために・接客の実践①②③④⑤		座学形式、指定教科書(P112~125)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入 ※2年次インターンシップでの重要項目なので、要チェック		
12	接客におけるトラブルと対応 接客で発生が予想される問題 問題を深刻化させない対策・対応		座学形式、指定教科書(P126~131)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入 ※3年次インターンシップでの重要項目なので、要チェック		
13	確認テスト		定期試験前の理解確認と復習のための小テストと解答・解説		
14					
15					
16					
17					
18					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			・美容学校生としては、経営については遠い未来のことではあるが、従業員としての視点や顧客満足、サービスとはの基本をこの科目と通して学ぶことが重要。定期試験、国家試験に向けて、確認テスト、教科書重要箇所の復習をしっかりと実施する。		
実務経験教員の経歴	【佐藤 哲治】現在美容室の経営者であり、美容師歴は30年を超えるキャリア美容技術の基本に加え、経営に関する知識もプラスしての指導が可能である。				

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	美容実習（ワインディング）					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	須佐 翼、鈴木 明美、近 早苗、小林 未来 岡村 智代美、佐藤 留美子、関 雪花、松木 達彦			実務授業の有無	○	
対象学科	美容	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	338	
授業概要、目的、 授業の進め方	授業は立位形式実習で行い、下記の内容を2年間かけて学ぶ 1、パーマ技術の習得 2、国家試験課題として合格レベルでの技術習得					
学習目標 (到達目標)	国家試験合格レベルの技術習得					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ワインディング道具一式、ワインディング専用ウィッグ、補助プリント、教科書					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	ワインディングの基礎（前期）			4～5月 ワインディングの巻き方の基礎		
2	ワインディングの全頭巻き（前期）			6～7月 全頭を35分で巻く&定期試験		
3	巻く速さの向上（後期中間）			9～11月上旬 全頭を30分で巻く		
4	巻く速さの向上（後期中間）			11月中旬～12月 全頭を25分巻く		
5	速さ&クオリティーの向上（後期後半）			1～3月全頭20分で巻く&仕上がりチェック&定期試験		
6	ワインディングバランス確認 タイム向上			4月～5月 全頭22分で巻く		
7	ワインディング チェック項目の確認 タイム向上			6月～7月 全頭20分でまく 定期試験		
8	技術&衛生指導			9月～12月 道具配置～衛生試験の確認 定期試験		
9	技術&衛生指導 タイム向上			1月 模擬試験		
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) とする。				パーマの技術を理解する事。巻き方や、構成等が自己流にならないように十分注意する事が必要である。また道具の取り扱い、ウィッグの取り扱いにおいてもお客様と思って履修する事が非常に重要である。		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて5～10年美容業に携わっていたことから、国家試験課題だけではなく現場の技術指導も可能である。					

科目名	美容実習（オールウェーブ）					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	須佐 翼、鈴木 明美、近 早苗、小林 未来 岡村 智代美、佐藤 留美子、関 雪花、松木 達彦		実務授業の有無	○		
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	363	
授業概要、目的、 授業の進め方	授業は立位形式（実習）で行い、下記の内容を2年間かけて学ぶ 1、オールウェーブセッティング技術習得 2、国家試験課題として合格レベルでの技術習得					
学習目標 (到達目標)	国家試験合格レベルでの技術の習得					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オールウェーブ用具一式、オールウェーブ専用ウィッグ、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	ウィッグの仕込み～fリンガーウェーブの基礎			9～10月 ウィッグの仕込み～シンガーウェーブの練習		
2	ウェーブの作成&構成の理解			11月 国家試験課題に伴う構成の理解とウェーブの作成		
3	カールの作り方と構成の理解			12月 国家試験に伴うカールの構成と理解		
4	5段目までの作成とトータルバランス			1～3月 国家試験に伴うトータルバランスの理解		
5	6・7段目の習得			4月～5月 全体作成と30分以内で完成		
6	全体バランスの向上&タイムUP			6月～7月 25分で完成 バランス確認		
7	技術&衛生指導			9月～12月 道具配置～衛生試験の確認 定期試験		
8	技術&衛生指導 タイム向上			1月 模擬試験		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) とする。				オールウェーブの技術を理解する事。ウェーブの作り方、カールの 作り方、構成等が自己流にならないように十分注意する事が必 要である。また道具の取り扱い、ウィッグの取り扱いにおいても お客様と思って履修する事が非常に重要である。		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて5～10年美容業に携わっていたことから、国家試験課題だけではな く現場の技術指導も可能である。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	美容実習（カット）					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	近 早苗・小林 未来・須佐 翼・松木 達彦・佐藤 留美子			実務授業の有無	○	
対象学科	美容	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	124	
授業概要、目的、 授業の進め方	授業は立位形式（実習）で行い、下記の内容を学ぶ 1、基本のレイヤーカットの仕組み 2、国家試験課題として合格レベルでの技術習得					
学習目標 （到達目標）	国家試験合格レベルでの技術の習得					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	カット用具一式、カットウィッグ、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	展開図とデモンストレーションをもとに、ブロックごとのカット			10月 全体のカットの流れの把握、注意事項の確認		
2	展開図を見ずに一通りのカットを実施			11月 30分でカット		
3	技術&衛生指導 タイム向上			12月 20分でカット		
4	模擬試験 技術&衛生指導			1月 20分カット+衛生		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下) とする。				オールウェーブの技術を理解する事。ウェーブの作り方、カールの作り方、構成等が自己流にならないように十分注意する事が必要である。また道具の取り扱い、ウィッグの取り扱いにおいてもお客様と思って履修する事が非常に重要である。		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて3~10年美容業に携わっていた国家試験課題だけではなく現場の技術指導も可能である。					

②

科目名	美容実習（実務実習）					【対面授業のみ実施】
担当教員	近 早苗・小林 未来・須佐 翼・松木 達彦・佐藤 留美子			実務授業の有無	○	
対象学科	美容	対象学年	2年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60	
授業概要、目的、授業の進め方	サロンにて実習をお願いし、サロンワークの体験をする。					
学習目標 (到達目標)	サロンワークを通して職業理解を深めることで、残りの学校生活での課題を見つけ克服していく					
テキスト・教材・参考図書・その他資料						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	インターンシップを通して、職業理解を深める			7月～8月 サロンワークを通して、仕事の流れを知る		
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出勤記録（出席率）90% ・外部評価 10%				サロンの一員として、就業規則を遵守すること。 仕事を通して、お客様の為に何が出来るのか考え行動できるようにする。		
実務経験教員の経歴	各サロン（美容室）にて美容師免許取得者・現場経験者が指導者となる					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	美容実習（国家試験実技模擬試験）		【対面授業のみ実施】		
担当教員	近 早苗・小林 未来・須佐 翼・松木 達彦・佐藤 留美子	実務授業の有無	○		
対象学科	美容	対象学年	2年	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	国家試験本番に向けて準備をする				
学習目標 (到達目標)	国家試験本番で、力を発揮できるようにする				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	国家試験実技の流れを知る		12月 実技を通して実施し、試験事項の確認をする		
2	国家試験本番同様のスケジュールで実施（計5回実施）		1月 反復、国家試験同様の流れを実施		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
・模擬試験 80% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			2年間の集大成として、国家試験合格に向けみんなで協力して取り組む。 国家試験の流れ・形・規定・衛生など全てにおいて漏れの内容に把握して実行できるようにする		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて3~10年美容業に携わっていた				

科目名	メイク					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	鈴木 明美・岡村智代美・関 雪花・田中 千穂・高橋 菜・小野塚 佳那			実務授業の有無	○	
対象学科	美容	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	60	
授業概要、目的、授業の進め方	基本的な3つのパターン（基本・曲線・直線）と3つのパターンを使いモデルに合わせたパーソナルメイクを習得する 1. 相モデルでメイクアップの実践形式で基礎知識・基礎技術の習得					
学習目標（到達目標）	メイクアップの基礎技術と基礎知識を習得すると共に美容師としての接客マナー等を現場で活かせる事を目標とする					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	FORUM MAKE-UP PARIS プロフェッショナルベーシックメイクアップコーステキスト、メイクアップパレット、ブラシセット等メイク用具一式、その他、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	教材配布、FORUM MAKE-UPについてメイクアップの効果、技術者としての心得、道具			使用する道具等の確認、テキスト(P1～7)・DVDを使用し説明と実践		
2	「セッティング～メイクアップベース」カウンセリング～メイクアップ前のスキンケア			テキスト(P28・29) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
3	「コンシーラー～フェイスパウダー」カウンセリング～フェイスパウダー			テキスト(P28・31) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
4	「アイメイク（基本）フレームライン」カウンセリング～アイメイク基本フレームライン			テキスト(P28・34) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
5	「アイメイク（基本）フレームライン、アイブロウ」カウンセリング～アイブロウ			テキスト(P28・35) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
6	「チーク・リップ(基本)～仕上げ」カウンセリング～チーク・リップ・仕上げ			テキスト(P28・39) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
7	基本のフルメイク			実践形式、相モデルで実習（45分）		
8	「アイメイク（曲線）フレームライン」カウンセリング～アイメイク曲線フレームライン			テキスト(P28・34) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
9	「アイメイク（曲線）フレームライン、アイブロウ」カウンセリング～アイブロウ、トリミング			テキスト(P28・35) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
10	「チーク・リップ（曲線）～仕上げ」カウンセリング～チーク・リップ・仕上げ			テキスト(P28・39) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
11	曲線のフルメイク			実践形式、相モデルで実習（45分）		
12	「アイメイク（直線）フレームライン」カウンセリング～アイメイク曲線フレームライン			テキスト(P28・34) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
13	「アイメイク（直線）フレームライン、アイブロウ」カウンセリング～アイブロウ、トリミング			テキスト(P28・35) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
14	「チーク・リップ（直線）～仕上げ」カウンセリング～チーク・リップ・仕上げ			テキスト(P28・39) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
15	直線のフルメイク			実践形式、相モデルで実習（45分）		
16	「顔分析・筆記対策」理想的な顔バランス・パーツバランス、輪郭の印象、モデルのメイク構築			テキスト(P10・40) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
17	パーソナルメイク 練習			実践形式、相モデルで実習（45分）		
18	パーソナルメイク 実技テスト			相モデルでテスト（45分）		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				FORUM MAKE-UP PARISのメイクアップ技術をベースにテキストと教務のデモンストレーションをしっかり見て、学生が相モデルの実践形式で基本技術、理論、接客姿勢、マナーなどの基礎知識を習得をする。		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて5～10年美容業に携わっていたことから、現場の技術指導も可能である。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	アドバンスカット 【対面授業と遠隔授業の併用実施】				
担当教員	佐藤 留美子・関 雪花・岡村 智代美・田中 千種・松木 達彦		実務授業の有無	○	
対象学科	美容	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	142
授業概要、目的、授業の進め方	授業は立位形式で実習として行う。以下を1年次通年として学んでいく。 1、道具の名称、姿勢、シザーの使い方等を学ぶ 2、ワンレングス、グラデュエーション、レイヤーを1年間で習得していく。				
学習目標 (到達目標)	ワンレングス、グラデュエーション、レイヤーを理解し、体現できるようになる事を目標とする				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TONI & GUY いちばんやさしくていねいなカットの基礎 各教務のデモンストレーション・板書・補助プリント、ウィッグ、シザー、コーム				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	テクニック1 ワンレングス		テクニック1 ワンレングス (P24~P35) 4月~5月 シザーの使い方~ワンレングス修得まで 25分間でスタイルの作成		
2	テクニック2 グラデュエーション		テクニック2 グラデュエーション (P36~P49) 6月~7月 25分間でスグラデュエーションスタイル作成		
3	テクニック3 レイヤースタイル		テクニック3 レイヤースタイル 9月後半~12月前半 25分間でレイヤーカットの作成		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			美容師にとって必要不可欠なカットの基礎技術を、しっかり理解する事。また、各スタイル毎での重要な所を教科書アンダーライン、書き込み等をする事。各教務によるデモンストレーションをしっかりと見る事が非常に重要である。		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて5~10年美容業に携わっていたことから、現場の技術指導も可能である。				

科目名	シャンプー&ブロー					【対面授業のみ実施】
担当教員	小林 未来 近 早苗 鈴木 明美 須佐 翼 岡村 智代美 佐藤 留美子 関 雪花 高橋 菜 小野塚 佳那 田中 千種			実務授業の有無	○	
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	88	
授業概要、目的、 授業の進め方	授業は実習室にて2人1組のペアで行い、2年間で以下の内容を習得する。 1. シャンプー、ブローの基本的な手順を習得する。 2. サイドシャンプー、バックシャンプーの両シャンプー台に対応できる技術を習得する。					
学習目標 (到達目標)	1.両シャンプー台、ドライヤー、ブローブラシの操作方法の習得。2.シャンプー、ブローの手順を習得。 3.髪質、骨格に合わせたシャンプーイング、ブローが出来る					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	美容技術理論1 美容実習1 シャンプー道具、ブロー道具一式 補助プリントなど					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	シャンプー(以下SP)の目的、SP台の使用法、 SPクロスの付け方、ウェットまでの手順 以上を実践			テキストを用い説明後、教員によるデモ 学生による実践		
2	前回の復習をした後、SPの手順を実践			テキストを用い説明後、教員によるデモ 学生による実践		
3	ペアを換え、ドライの手順をデモ、SP後に実践			テキストを用い説明後、教員によるデモ 学生による実践		
4	ペアを換え、ハンドブローの手順をデモ、SP後に実践			テキストを用い説明後、教員によるデモ 学生による実践		
5	ペアを換え、前回までの手順を実践			手順確認などにテキストを用い、実践		
6	ペアを換え、ブローの手順をデモ、SP後に実践			テキストを用い説明後、教員によるデモ 学生による実践		
7	ペアを換え、SPの回数を増やし、前回までの手順を実践			テキストを用い説明後、教員によるデモ 学生による実践		
8	ペアを換え、前回までの手順を実践し、学生間ペアでスタイリ ングをし合う			スタイリング方法の指導など行う		
9	ペアを換え、前回までの手順を実践し、より満足度の高い技術を 提供できるよう実践			必要箇所のデモ、実習室を巡回し不足している技術指導		
10	ペアを換え、前回までの手順を実践し、より満足度の高い技術を 提供できるよう実践			必要箇所のデモ、実習室を巡回し不足している技術指導		
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20%				相モデルでの授業となる事から、シャンプー&ブローの知識・技 術の修得はもちろんではあるが、サービス業の側面から、声掛 け、気遣い、思いやり等の気持ちを持ち施術に当たる事。		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて3~10年美容業に携わっていたことから、現場の技術指導も可能で ある。					

科目名	ヘアカラー					【対面授業のみ実施】
担当教員	小林 未菜 近 早苗 鈴木 明美 須 佐 翼 岡村 智代美 佐藤 留美子 関 雪花 田中 千種 松木 達彦 高橋 菜 小野塚 佳那		実務授業の有無	○		
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	34	
授業概要、目的、 授業の進め方	授業は実習室にて行い、1年次でカラー基礎、2年次で人頭を用いた実践的な技術を習得する 1. 基礎知識の習得 2. 基礎技術の習得					
学習目標 (到達目標)	1.カラーのメカニズムの理解 2.カラーの塗布技術習得 3.(2年次)髪質に合わせた薬剤選定、塗布技術の習得					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	美容技術理論1 美容実習1 カラー道具、補助プリントなど					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	カラーについての導入、種類、特徴、メカニズム、パッチテスト色の三原色、補色について学ぶ		テキストを用い説明 カラー剤を少量皮膚に塗布しアレルギー反応の有無の確認			
2	薬剤の調合の仕方 Wigを用いたツータッチ塗布の練習(Wig右半頭)		薬剤の調合、Wigでのツータッチ塗布のデモ 実践			
3	Wigで全頭ツータッチ塗布 自分でムラなく染める練習		全頭塗布の手順のレクチャー、補助プリントで手順確認			
4	ホイルワークを用いたカラーの効果的な施術の実践(スライシング)右半頭のみ		補助プリントで手順確認後、教務デモ			
5	ホイルワークを用いたカラーの効果的な施術の実践(ウィーピング)左半頭のみ		補助プリントで手順確認後、教務デモ			
6	(2年次)3人一組のペアを作り塗布をし合う。 塗布用のカラー剤選定。		ipadでアプリ【COLOR ME】【You Canメイク】をダウンロードし、自分合うカラー剤選定をする。			
7	Wigを用い、1年次ツータッチの復習		テキストを用い復習 教務のデモ 実践			
8	半頭でスライシング、ウィーピングと分けホイルワークの復習後マニキュア塗布実践		テキストを用い復習 教務のデモ 実践			
9	3人1グループで人頭塗布実践(1人目)		モデルを用いた際の注意点など説明			
10	3人1グループで人頭塗布実践(2人目)		モデルを用いた際の注意点など説明			
11	3人1グループで人頭塗布実践(3人目)		モデルを用いた際の注意点など説明			
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
出席率 80% 学習意欲 20%			薬剤を使用する美容技術である事から、カラー理論・塗布技術の修得もちろんであるが、アレルギー反応や施術の際の皮膚保護の重要性も理解する。まずは、ヘアカラーの基本をしっかりと身につけられるよう授業に集中して取り組むこと。			
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて3~12年美容業に携わっていたことから、現場の技術指導も可能である。					

科目名	修了制作					【対面授業のみ実施】
担当教員	須佐翼・鈴木 明美・関 雪花・岡村 智代美・高橋 菜・小野塚 佳那		実務授業の有無			
対象学科	美容	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	30	
授業概要、目的、授業の進め方	1年次で習得した技術(カット、ヘアアレンジ、ヘアカラー、メイク等)を学生主体で企画構成をしたヘアショーを作りステージ発表をする。					
学習目標(到達目標)	1年次で習得した技術(カット、ヘアアレンジ、ヘアカラー、メイク等)を学生主体で企画構成をしたヘアショーを作りステージ発表をする。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	前年度の修了制作の画像					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	テーマ・ショーの概要構築		意見・要望を出して話し合い			
2	テーマ決定、構成・音楽(BGM)・ライティングを決める。		モデル・技術者・機材等担当を決める。			
3	テーマに沿ってのヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウオーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成		意見を出し合い実際にヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成			
4	ヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウオーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成		グループごとヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成			
5	クラス紹介画像		クラス全員の紹介画像作成			
6	校内リハーサル		本番の時間・音楽・動きをして確認をする			
7	前日会場リハーサル		本番の時間・音楽・動きをして確認をする			
8	修了制作ショー当日本番		多くの保護者の前で1年間の学習の成果をヘアショーとしてステージ発表する			
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
出席率 80% 学習意欲 20%			1年次で習得した技術をクラス内で一致団結してコミュニケーションを図り、構成・音楽などすべてを構築してがくしゅうの成果をステージ発表する。			
実務経験教員の経歴						

②

科目名	卒業制作				【対面授業のみ実施】	
担当教員	小林 未来、近 早苗、佐藤 留美子、田中 千種			実務授業の有無		
対象学科	美容	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30	
授業概要、目的、授業の進め方	2年間で習得した知識と技術(カット、ヘアアレンジ、ヘアカラー、メイク等)を活かし、学生主体で企画構成をしたヘアショーを作りステージ発表をする。					
学習目標 (到達目標)	2年間で習得した知識と技術(カット、ヘアアレンジ、ヘアカラー、メイク等)を学生主体で企画構成をしたヘアショーを作りステージ発表をする。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	1年次修了制作での経験と過去の映像や、外部講師による特別セミナー等					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	テーマ・ショーの概要構築			意見・要望を出して話し合い		
2	テーマ決定、構成・音楽(BGM)・ライティングを決める。			モデル・技術者・機材等担当を決める。		
3	テーマに沿ってのヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウオーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成			意見を出し合い実際にヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成		
4	ヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウオーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成			グループごとヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成		
5	クラス紹介画像			クラス全員の紹介画像作成		
6	校内リハーサル			本番の時間・音楽・動きをして確認をする		
7	前日会場リハーサル			本番の時間・音楽・動きをして確認をする		
8	卒業制作ショー当日本番			多くの保護者や在校生に向け、2年間の集大成である学習成果をヘアショーとしてステージ発表する		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20%				2年間で習得した知識と技術を、学生主体でクラス一丸となりコミュニケーションを図りながら、構成・音楽などすべてを構築して学習の成果をステージ発表する。		
実務経験教員の経歴						

科目名	選択ヘア				【対面授業のみ実施】	
担当教員	佐藤 留美子、松木 達彦		実務授業の有無	○		
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	146	
授業概要、目的、 授業の進め方	興味のあるコースを選択する事で、より深くカットやカラーについて学ぶ。 カット・カラーの基礎を学び、自分でスタイルを考え作れるようになる。 最後は、相モデルで人頭をカットする。					
学習目標 (到達目標)	人でスタイルを切れるようにしていく。 就職後、いち早いスタイリストデビューできる基礎を作る。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	女性モード社 見るだけで学べるアークーツクツク カット編 ① 髪書房 40日でカットの仕組みがわかる本 ② 新美容出版 TOMOTOMO BASIC SERIES ③					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	カットの基本をマスターし、ウィッグを制作		1年次 7月 グループワークを軸に、話し合い作品を制作 各種美容雑誌			
2	アレンジの基礎を元に、モデルを使用しヘアメイクを行う		1年次 1月 グループワークを軸に、話し合い作品を制作 各種美容雑誌			
3	頭の丸み、髪の毛の重なりを理解する		2年次 5月 ①②③テキストを使用し、ワークシートに記入 ウィッグで検証し理解していく			
4	ブリーチの効果、塗布の仕方など基礎技術の習得		2年次 6月 トレンドカラーのテクニックをデモンストレーション 外部講師を招きセミナー実施 ウィッグで検証し理解していく			
5	ヘアデザイン作品の制作		2年次 7月 トレンドデザインを外部講師を招きセミナー実施 ウィッグで検証し理解していく			
6	カット・カラーを組み合わせでのサロンスタイル制作		2年次 9月 各種美容雑誌を用い、スタイルを制作していく			
7	相モデルでの、カットスタイル構築。実施。		2年次 10月 シャンプー・カット・(カラー)・仕上げまで 一人で責任を持って仕上げる			
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20%			スタイリストに早くなるために必要なスキルを身につける トレンドを意識するように、常に美容にアンテナを立て 吸収していける様にする お客様を綺麗にするために、技術だけではなくコミュニケーションもしっかりとれるようにしていく			
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴	各教員それぞれ美容師として美容現場で3~12年携わっていた					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	選択メイク					【対面授業のみ実施】
担当教員	近 早苗		実務授業の有無	○		
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	146	
授業概要、目的、授業の進め方	1年次の基礎を元に、よりクリエイティブ技術と知識を習得していく まつ毛エクステの技術と知識の習得					
学習目標 (到達目標)	時代のニーズに合った技術と知識を持つ事で、即戦力の人材となるようにしていく					
テキスト・教材・参考図書・その他資料						
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	メイクの基本をマスターし、作品を制作		1年次 7月 相モデルで実施 デモンストレーションを行いながら基本パターンを反復練習			
2	メイクの基礎を元に、モデルを使用しヘアメイクを行う		1年次 1月 グループワークを実施 各種美容雑誌からヒントをもらい、モデルを仕上げる			
3	メイクの基礎復習・骨格修正		2年次 5月 外部講師を招きデモンストレーション・実習			
4	ヘアアレンジ基礎・ヘアメイク作品制作		2年次 6月 外部講師を招きデモンストレーション・実習			
5	作品制作 撮影		2年次 7月 相モデルにて、ヘアメイクを行う			
6	特殊メイク		2年次 9月 外部講師を招きデモンストレーション・実習			
7	まつ毛エクステ		2年次 10月 外部講師を招きデモンストレーション・実習			
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			様々なメイク技術を学ぶことで、仕事の幅・活躍の場を自ら広げていくきっかけにする。 様々なシーンで活躍できる技術・知識を身につける			
実務経験教員の経歴	各教員それぞれ美容師として美容現場で3~12年携わっていた。美容室経営・ヘアメイクの現場で20年以上					

科目名	選択着付					【対面授業のみ実施】
担当教員	植田 好美・齋藤 和江			実務授業の有無	○	
対象学科	美容	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	146	
授業概要、目的、授業の進め方	ブライダルの授業を通じ、美容師としての仕事の幅を広げ、ブライダルシーンで活躍できる技術・知識を身につける。					
学習目標 (到達目標)	着付技術の習得・ブライダルヘアメイクが個々に合わせて提供できる					
テキスト・教材・参考図書・その他資料						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	着付けの基本をマスターし、浴衣を着せる			1年次 7月 相モデルで実施 着物の各名称を覚える デモンストレーションを行いながら着付けをしていく		
2	着付けの基礎を元に、モデルを使用しヘアメイク着付けを行う			1年次 1月 グループワークで実施 各種美容雑誌を見ながらモデルに似合うヘア・着付けを行う		
3	体型補正の方法・浴衣の着付け・半巾帯結び			2年次5月 自分での補正・自分での着付		
4	小紋の襟とじ・長じゅばんの着付け・小紋の着付け・着物のたたみ方			2年次6月 裁縫・相モデルでの着付		
5	名古屋帯の結び方と知識・留袖の準備と着付けと知識 袋帯二重太鼓の結び方・伊達襟の付け方			2年次7月 相モデルでの着付・帯結び・裁縫		
6	振袖・長じゅばんの準備・振袖着付けと二枚扇 ドレスフィッティング&アテンド・ブライダル総論&ヘアアレンジ			2年次9月 相モデルでの着付・帯結び ドレスフィッティング、立ち振る舞いの注意点、アテンドについて ブライダルについて、ヘアアレンジ（ウィッグにて） ホットカーラーの使い方～ヘアアレンジまで		
7	総論・ブライダルメイク・メイク&ヘアアレンジ 花嫁作り・総まとめ			2年次10月 ブライダルについて、ブライダルサロン見学、 和装・洋装デモンストレーション ドレスに合わせたメイク&ヘアアレンジ、 花嫁支度の準備・洋装花嫁支度練習 総まとめ、花嫁支度		
8						
9						
10						
11						
12						
15						
16						
17						
18						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				ブライダルの授業を通じ、美容師としての仕事の幅を広げ、ブライダルシーンで活躍できる技術・知識を身につける。		
実務経験教員の経歴	着付講師歴10年以上、ブライダルの現場で20年以上携わっている					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	選択ネイル					【対面授業のみ実施】
担当教員	中野 真知子、小林 未来		実務授業の有無	○		
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	146	
授業概要、目的、授業の進め方	国家試験に万全の状態であるために必要な知識・技術・意識の向上 即戦力になるための技術・接客力の向上					
学習目標 (到達目標)	美容師国家試験合格レベルをめざす					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ワインディング用具一式 オールウェーブ用具一式					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	技術の基本動作をマスターし、作業の効率化・正確さをはかる		1年次 7月 ウィッグを中心に立ち位置・姿勢の確認を行う グループワークで実施			
2	基礎動作を元に、国家試験課題のレベルアップをはかる		1年次 1月 デモンストレーションを行いながらの実習 個別指導で対応する			
3	ワインディング基礎復習		2年次 5月 基礎技術の確認 実践 タイム計測			
4	オールウェーブ基礎復習		2年次 6月 基礎技術の確認 実践 タイム計測			
5	シャンプー技術		2年次 7月 基礎技術の確認 実践			
6	ワインディング応用		2年次 9月 タイム計測 個別指導 苦手克服指導			
7	オールウェーブ応用		2年次 10月 タイム計測 個別指導 苦手克服指導			
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			国家試験合格に向けた基礎技術の向上・習得を目指す サロンで早く技術を身に付けていける様に、体の使い方をマスターする			
実務経験教員の経歴	美容師として美容現場で3年携わっていた					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	就職実務 【対面授業と遠隔授業の併用実施】				
担当教員	須佐翼・岡村智代美・佐藤留美子・鈴木雅浩・田中千穂 近早苗・小林未来・鈴木明美・坂元仁志・関 雪花		実務授業の有無		
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	95
授業概要、目的、 授業の進め方	就職活動に必要なスキルを身につける 履歴書の書き方・挨拶の仕方など基本的な対策				
学習目標 (到達目標)	主体的に物事を考え、自主的に動き、希望就職を叶える				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	株式会社「フイネット」 勝つための就職ガイド SUCCESS ① BeStar Magazine RECRUIT GUIDE BOOK 美容学生のための就活の教科書 ② オリジナル補助テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	就職活動の心構え、求職登録面接に向けて書類作成・面接練習		1年次 9月～12月 ①テキスト (P6～33)講義形式で行い、テキストにアンダーラインやグループディスカッションを行う		
2	就職書類の書き方、企業研究の方法、就職活動の流れを知る		1年次 1月～3月 ①テキスト (P35～50)講義形式で行い、テキストにアンダーラインやグループディスカッションを行う		
3	就職ガイダンスに向けての企業研究、		2年次 4月 求人票を元に、一人が複数店舗研究 最後に、クラス全員で発表し情報をシェアする		
4	自己PR・志望動機の作成		2年次 5月 ②テキストを使用し、読み合わせ、アンダーラインを引く。ワークシートを利用して抽出していく		
5	模擬面接の実施		2年次 6月 グループを組み、面接官と受験者・撮影者に分かれ面接。 ビデオを見ながらフィードバックし改善をはかる		
6	インターンシップに向けての対策、必要書類の説明		2年次 7月 ロープレを行い、実際のサロンの動きを理解する		
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20%			社会に出るにあたり、仕事の意味についてしっかり考え、自分の将来を考えるきっかけにしていく。 主体性・自主性を持って就職活動にあたり、社会人としてのルール・マナーも同時に身につける。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	コミュニケーション実践					【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	須佐翼・岡村智代美・佐藤留美子・鈴木雅浩・田中千種 近早苗・小林未来・鈴木明美・坂元仁志・関 雪花			実務授業の有無			
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年		
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	79		
授業概要、目的、授業の進め方	人間力の向上のために行う。クラス内でのディスカッションや、団結力・協調性の向上を図っていく。						
学習目標 (到達目標)	人間力育成・向上						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1	入学時・進級時オリエンテーション			入学時のコミュニケーションとしてゲーム等を交え実施			
2	学園祭			1.2年次7月 学園祭を通し、よりいっそうのコミュニケーションを図る			
3	大運動会			1.2年次10月 大運動会を通し、協調性の向上を図る			
4	外部セミナー			人間力セミナー、美容セミナー開催			
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
評価方法・成績評価基準				履修上の注意			
出席率80% 学習意欲20%				学校行事・イベント・特別セミナー等は、コミュニケーション能力、協調性、積極性をはぐくむための重要な科目です。また、学部講師セミナーにおいては、現場の講師からの今の流行・最新技術を学べる非常に貴重な時間となるので、将来のためにしっかりと学ぶこと。			
実務経験教員の経歴							

科目名	総合人間性学習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
	須佐翼・岡村智代美・佐藤留美子・鈴木雅浩・田中千穂 近早苗・小林未来・鈴木明美・坂元仁志・関 雪花			実務授業の有無			
対象学科	美容	対象学年	2年間	開講時期	通年		
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	156		
授業概要、目的、授業の進め方	人間力向上のために、必要な事柄を学習や体験で身に付けていく。クラス目標の決定やディスカッションなどクラス内の団結力・協調性向上や個人目標の決定・振り返りなど様々な事が總をクラス単位の授業として取り組みます。						
学習目標 (到達目標)	人間力、協調性、の向上、個人目標の設定						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学テキスト						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1	実践行動学 Part1 意欲的な心構えについて			テキストを使い、ディスカッション&記入形式で行う			
2	マジックドア1 夢と目標について			P1～P7 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
3	マジックドア2 誤った思い込みと言ひ訳			P8～P13 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
4	マジックドア3 行動のよりどころと心構え			P14～P22 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
5	マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために			P23～P32 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
6	マジックドア5 目標を設定しよう			P33～P42 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
7	国内研修 ホスピタリティーについて			11月 ディズニーランドのホスピタリティーを学ぶ			
8	実践行動学 Part2 自分の可能性を広げよう			テキスト使い、ディスカッション&記入形式で行う。			
9	マジックドア1 プラス思考が自分の可能性を大きく広げる			P1～P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
10	マジックドア2 考え方を換えれば行動が変わる			P5～P11 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
11	マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決できる			P12～P19 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
12	マジックドア4 あなたのコミュニケーションを見直そう			P20～P27 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
13	マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる			P28～P36 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
14	実践行動学Part3 社会へ出る準備を始めよう マジックドア1 入学から今日までの成長を実感しよう			P1～P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
15	マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方は			P5～P10 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える P11～P14 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
16	マジックドア4 将来を描いてみよう			P15～P20 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
17	マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう			P21～P24 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える			
18	海外研修 グローバルスタンダード教育の一環として、幅広い世界の技術や知識を吸収する。			2年次11月～12月 教育提携校での研修			
評価方法・成績評価基準				履修上の注意			
出席率80% 学習意欲20%。				学生の学習意欲が向上するようになぜ必要なのかを、始める前にしっかり導入し、環境を整える事が重要である。			
実務経験教員の経歴							

科目名	衛生管理 【対面授業と遠隔授業の併用実施】				
担当教員	小林未来		実務授業の有無		
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年間	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	授業は座学形式で合同授業で1～2年間通年で以下の内容を習得する。 1. 衛生専門課程でもある美容師の衛生分野の知識を学ぶ 2. 公衆衛生・環境衛生・感染症・衛生管理技術の全4編を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	・美容師国家試験(筆記)の取得レベルの知識を身につけるとともに、美容師として必要な感染症、消毒方法の知識を学び現場で活かせることを目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	・日本理容美容教育センター出版：衛生管理 ・理容師美容師筆記試験問題と解答、解説 ・その他、補助プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第1編 公衆衛生 ・第1章公衆衛生の概要 公衆衛生の意義と課題・公衆衛生発展の歴史		座学形式、指定教科書(P7～14)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
2	理容師・美容師と公衆衛生・保健と理容業と美容業		座学形式、指定教科書(P15～19)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
3	第2章 保健(母子保健・成人、高齢者保健・精神保健)		座学形式、指定教科書(P20～39)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
4	第2章 環境衛生 第1章 環境衛生 環境衛生の内容・環境衛生の目的と意義・環境衛生活動		座学形式、指定教科書(P41～45)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
5	空気環境・衣服、住居の衛生		座学形式、指定教科書(P46～59)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
6	上下水道と廃棄物 ・衛生害虫とネズミ		座学形式、指定教科書(P60～68)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
7	環境保全 ・定期テスト範囲対策		座学形式、指定教科書(P69～72)をもとに重要カ所にアンダーライン ・対策プリントにて復習		
8	第3編 感染症 ・第1章 感染症の総論 人と感染症 (感染症発見の歴史、感染症と法律・分類)		座学形式、指定教科書(P73～81)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
9	病原微生物 (微生物の種類、形と大きさ、構造、増殖と環境の影響)		座学形式、指定教科書(P82～87)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
10	感染症予防 (微生物の病原性と人体の感受性・汚染感染発病・錠剤細菌叢・免疫と予防接種、感染症発生の要因・感染症予防の3原則)		座学形式、指定教科書(P88～100)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
11	第2章 感染症の各論 ・理容、美容と感染症 主な感染症(微生物の病原性と人体の感受性・飲食物、血液等、動物、節足動物を介して感染する感染症)		座学形式、指定教科書(P103～122)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
12	具体的な対策の例		座学形式、指定教科書(P123～128)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
13	第4編 衛生管理技術 ・第1章 消毒法総論(消毒とは・消毒の意義)		座学形式、指定教科書(P129～134)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
14	理容・美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意)		座学形式、指定教科書(P135～147)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
15	第2章 消毒法各論 理学的消毒法・化学的消毒法・優れた消毒法とその実施上の注意)		座学形式、指定教科書(P148～166)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
16	第3章 消毒法実習 ・各種消毒薬・理容所、美容所の消毒の実際		座学形式、指定教科書(P167～197)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
17	第5編 衛生管理の実践例・理容所、美容所における衛生管理要領・理、美容所の自主的管理点検		座学形式、指定教科書(P198～234)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
18	定期テスト範囲対策		座学形式、指定教科書及び補助テキストを参考に対策プリントにて復習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			美容師にとってお客様、スタッフ、そして自分の生を衛ることが重要な事を認識する事。各章毎の重要カ所を教科書アンダーライン、補助プリントへの記入をすること。また定期テスト、国家試験に向けての対策プリントの復習も必要です。		
実務経験教員の経歴					

科目名	保健					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	須佐 翼、松木 達彦			実務授業の有無		
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	90	
授業概要、目的、授業の進め方	1、人体の構造や機能について頭頸部を中心に学び、理解を深める 2、皮膚とその付属器官について詳細を学ぶ					
学習目標 (到達目標)	人体の構造・皮膚科学を中心に学び、美容師業務の特徴である頭皮・毛髪・肌の健康管理ができる知識と技術、特に皮膚や毛髪に関し深く理解する(国家試験取得レベルの知識習得)					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	公益財団法人 日本理容美容教育研修センター 保健 その他 オリジナル補助テキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	頭部、顔部、頸部の体表解剖学			座学形式、指定教科書(P12~21)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
2	骨格器系			座学形式、指定教科書(P22~29)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
3	筋系			座学形式、指定教科書(P30~37)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
4	神経系			座学形式、指定教科書(P38~41)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
5	感覚器系			座学形式、指定教科書(P42~47)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
6	血液・循環器系			座学形式、指定教科書(P48~55)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
7	呼吸器系			座学形式、指定教科書(P56~59)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
8	消化器系			座学形式、指定教科書(P60~65)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
9	皮膚の構造			座学形式、指定教科書(P68~77)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
10	皮膚付属器官の構造			座学形式、指定教科書(P78~89)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
11	皮膚の循環器系と神経系			座学形式、指定教科書(P90~93)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
12	皮膚と皮膚付属器官の生理機能			座学形式、指定教科書(P94~107)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
13	皮膚と皮膚付属器官の保健			座学形式、指定教科書(P108~131)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
14	皮膚と皮膚付属器官の疾患			座学形式、指定教科書(P132~181)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				頭頸部の解剖学的な構造、生理学的な構造を学ぶことでより良いデザインをうみだしていける様にする。薬剤を扱うので頭皮・毛髪の知識をしっかりと身につけること。教科書へのアンダーラインは勿論のこと、補助テキストへの記入もしっかり行うこと。		
実務経験教員の経歴						

科目名	化粧品化学 【対面授業と遠隔授業の併用実施】				
担当教員	八木 小聖		実務授業の有無		
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年間	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	授業は座学形式で合同授業で1～2年間通年で以下の内容を習得する。 1. 美容師として必要となる化粧品の基礎知識を学ぶ 2. 化粧品概論・原料・基礎、メイクアップ・頭皮、毛髪用化粧品・芳香製品・化学基礎を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	・美容師国家試験(筆記)の取得レベルの知識を身につけるとともに、美容師として必要な化粧品の成分、使用方法の知識を習得し、現場で活かせることを目標とする。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	・日本理容美容教育センター出版：化粧品化学 ・理容師美容師筆記試験問題と解答、解説 ・その他、補助プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第1章 化粧品概論 ・化粧品の社会的意義と品質特性(意義・必要条件) ・化粧品の規制(定義・製造販売・品質・表示&広告)		座学形式、指定教科書(P9～22)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
2	・化粧品の安全性と取り扱い上の注意(安定性・経時変化・使用上の取り扱いの注意) ・化粧品と安全性(安全性・表示成分と安全性・トラブル)		座学形式、指定教科書(P24～30)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
3	第2章 化粧品用原料 ・化粧品の対象となる人体各部の性状(種類と機能・皮膚と水・頭皮、毛髪) ・爪の性状・まぶたや口唇の性状・化粧品の成立)		座学形式、指定教科書(P31～40)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
4	・水性原料(水・エタノール) ・油性原料(油脂・ロウ類・炭化水素・その他) ・油性原料の機能) ・界面活性剤(基本性質・種		座学形式、指定教科書(P41～62)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
5	・色材(色材と化粧品・無機顔料・有機合成色素・光輝性顔料・天然色素) ・香料(香料と化粧品・種類・調合香料)		座学形式、指定教科書(P63～73)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
6	・その他の配合成分(品質保持に求められる配合成分・化粧品が与える機能・特殊成分) ・ネイル、まつ毛エクステンション用材料(合成樹脂・接着剤・塗料)		座学形式、指定教科書(P74～84)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
7	第2章 基礎化粧品 ・皮膚清浄用化粧品(皮膚の汚れと清浄作用・石鹸の種類と性質・その他) ・化粧水(種類と機能) ・クリーム、乳液(皮膚への影響・種類と機能)		座学形式、指定教科書(P85～100)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
8	・その他の化粧品(シェービング・化粧液・打粉・バック剤) ※確認テスト①		座学形式、指定教科書(P101～103)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入 ※前項迄の理解確認と復習のための小テストと解答・解説		
9	第4章 メイクアップ化粧品 ・種類と剤形 ・ベースメイクアップ化粧品(おしろい・ファンデーション類) ・ポイントメイクアップ化粧品(紅類・化粧品・ネイル技術用)		座学形式、指定教科書(P104～122)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
10	第5章 頭皮、毛髪化粧品 ・シャンプー剤(ヘアリンス剤・ヘアトリートメント) ・スタイリング剤(機能・油性・液状・高分子物質を基剤とするもの)		座学形式、指定教科書(P124～135)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
11	・パーマ剤(原理・分類・第1剤・第2剤・使用上の注意) ・ヘアカラー剤(種類と染毛メカニズム・一次染毛料・半永久染毛料・脱色剤、脱染剤・使用上の注意・その他) ・育毛剤(脱毛の原因・種類と機能・原料)		座学形式、指定教科書(P136～156)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
12	第6章 芳香製品と特殊化粧品 ・芳香製品(香水・オードコロン・その他・使用上の注意) ・特殊化粧品(サンケア・美白用・制汗、防臭剤・ニキビ用)		座学形式、指定教科書(P157～164)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
13	化粧品を理解するための基礎化学		座学形式指定教科書(付録1～17)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
14	確認テスト②		定期試験前の理解確認と復習のための小テストと解答・解説		
15					
16					
17					
18					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			薬剤を使用する美容師にとって化粧品の知識は必要不可欠です。頭皮等のトラブルにつながる可能性を理解し、各章毎の重要カ所を教科書アンダーライン、補助プリントへの記入をすること。また定期テスト、国家試験に向けての対策プリントの復習も必要です。		
実務経験教員の経歴					

科目名	文化論					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	鈴木明美 佐藤留美子			実務授業の有無		
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60	
授業概要、目的、 授業の進め方	授業は座学形式で合同授業で1～2年間通年で以下の内容を習得する。 ・美容師国家試験（筆記）課題科目でもあることから対策授業も実施					
学習目標 (到達目標)	・美容師国家試験（筆記）の取得レベルの知識を身につける ・美容の歴史をはじめ、ファッションとの関係性、流行等の知識を学ぶ。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	・日本理容美容教育センター出版：文化論 ・理容師美容師筆記試験問題と解答、解説 ・その他、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	第1章 総論 第1節 総論			座学形式、指定教科書（P5～8）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
2	第2章 日本の理容業・美容業の歴史 第1節 理容業・美容業の発生 第2節 江戸時代の理容業・美容業			座学形式、指定教科書（P9～16）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
3	第3節 近代の理容業・美容業 第4節 現代の理容業・美容業			座学形式、指定教科書（P17～24）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
4	第3章 ファッション文化史 日本編 第1節 縄文・弥生・古墳時代 第2節 古代			座学形式、指定教科書（P9～39）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
5	第3節 中世 第4節 近世Ⅰ			座学形式、指定教科書（P40～48）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
6	第5節 近世Ⅱ 第6節 近代			座学形式、指定教科書（P49～83）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
7	第7節 現代Ⅰ 第8節 現代Ⅱ			座学形式、指定教科書（P84～97）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
8	第9節 現代Ⅲ 第10節 現代Ⅳ			座学形式、指定教科書（P98～106）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
9	第4章 ファッション文化史 西洋編 第1節 古代エジプト 第2節 古代ギリシャ・ローマ			座学形式、指定教科書（P107～112）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
10	第3章 古代ゲルマン 第4節 中世ヨーロッパ			座学形式、指定教科書（P113～119）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
11	第5節 近世Ⅰ 第6節 近世Ⅱ			座学形式、指定教科書（P120～127）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
12	第7節 近世Ⅲ 第8節 近代Ⅰ			座学形式、指定教科書（P128～133）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
13	第9節 近代Ⅰ 第10節 近代Ⅰ			座学形式、指定教科書（P134～142）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
14	第11節 近代Ⅰ 第12節 近代Ⅲ			座学形式、指定教科書（P143～148）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
15	第13節 近代Ⅳ 第14節 近代Ⅴ			座学形式、指定教科書（P149～157）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
16	第15節 近代Ⅵ 第16節 近代Ⅶ			座学形式、指定教科書（P158～162）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
17	第5章 礼装の種類			座学形式、指定教科書（P163～170）をもとに重要カ所にアンダーライン・補助プリントへの記入		
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				歴史において、理容・美容がかかわってきた事を学ぶことで美容師としての美の成り立ちやあり方の理解を深める。教科書へのアンダーラインは勿論のこと、補助テキストへの記入もしっかり行うこと。		
実務経験教員の経歴						

科目名	美容技術理論					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	佐藤留美子・須佐翼・岡村智代美・近早苗		実務授業の有無	○		
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	150	
授業概要、目的、授業の進め方	授業は座学形式で合同授業で1～2年間通年で以下の内容を習得する。 1. 毛髪の知識や各種器具の使用方法、多種多様な美容技術の知識を学ぶ 2. 美容師国家試験（筆記）課題科目でもあることから対策授業も実施					
学習目標 (到達目標)	・美容師国家試験（筆記）の取得レベルの知識を身につけるとともに、美容師として必要な美容技術・各種器具・毛髪の知識等を学び現場で活かせることを目標とする。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	・日本理容美容教育センター出版：美容技術理論 ・理容師美容師筆記試験問題と解答、解説 ・その他、補助プリント					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	美容技術理論1 序章		座学形式、指定教科書（P4～10）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
2	美容技術理論1 第1章 美容用具		座学形式、指定教科書（P14～33）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
3	美容技術理論1 第2章 シャンプーイング		座学形式、指定教科書（P34～63）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
4	美容技術理論1 第3章 ヘアデザイン		座学形式、指定教科書（P64～65）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
5	美容技術理論1 第4章 ヘアカットイング		座学形式、指定教科書（P86～117）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
6	定期テスト範囲対策		座学形式、指定教科書及び補助テキストを参考に対策プリントにて復習			
7	美容技術理論1 第5章 パーマネントウェービング		座学形式、指定教科書（P126～155）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
8	美容技術理論1 第6章 ヘアセッティング		座学形式、指定教科書（P158～218）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
9	美容技術理論1 第7章 ヘアカラーリング		座学形式、指定教科書（P220～242）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
10	定期テスト範囲対策		座学形式、指定教科書及び補助テキストを参考に対策プリントにて復習			
11	美容技術理論2 第8章 エステティック		座学形式、指定教科書（P4～32）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
12	美容技術理論2 第9章 ネイル技術		座学形式、指定教科書（P36～64）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
13	美容技術理論2 第10章 メイクアップ		座学形式、指定教科書（P72～104）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
14	美容技術理論2 第11章 日本髪		座学形式、指定教科書（P112～134）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
15	美容技術理論2 第12章 着付けの理論と技術		座学形式、指定教科書（P134～174）をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入			
16	定期テスト範囲対策		座学形式、指定教科書及び補助テキストを参考に対策プリントにて復習			
17	国家試験対策		座学形式、指定教科書及び補助テキストを参考に対策プリントにて復習			
18	国家試験対策		座学形式、指定教科書及び補助テキストを参考に対策プリントにて復習			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10%			美容師としてお客様に「技術と心」を提供する為に必要となる、基礎的技術と理論を学ぶ。その上で必須となる国家試験取得を目指す。各章毎での重要カ所を教科書アンダーライン、補助プリントへの記入をすること。また定期テスト、国家試験に向けての対			
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)			シナフ			

とする。

策プリントの復習も必要です。

実務経験教員の経歴

各教員それぞれ美容師として美容現場で5～12年携わっており、美容技術の基本に加え、現場知識もプラスしての実践的知識の指導が可能である。

科目名	運営管理 【対面授業と遠隔授業の併用実施】				
担当教員	関 雪花		実務授業の有無	○	
対象学科	ヘアメイク	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	授業は座学形式で合同授業で1年次に以下の内容を習得する。 1. 経営者の考えや経営者が果たす責任・役割を学ぶ 2. 「経営者の視点・人という資源、従業員としての視点・顧客のために」の全3編を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	・美容師国家試験(筆記)の取得レベルの知識を身につけるとともに、 将来の経営者としての知識を学び未来で活かせることを目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	・日本理容美容教育センター出版：運営管理 ・理容師美容師筆記試験問題と解答、解説				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第1章 経営者の視点 ・経営とは・経営者とは (経営が必要とされる理由・経営が難しい理由・経営とは何か)		座学形式、指定教科書(P11~17)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
2	経営資源と経営計画・経営戦略・経営者が目指すもの)		座学形式、指定教科書(P18~23)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
3	理容業・美容業の経営について・業界の概要・競争の変化・サービスとしての理容美容・理容業、美容業の顧客について		座学形式、指定教科書(P24~31)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
4	資金の管理(資金管理・収益と損益・会計の考え方・コスト管理・税金)		座学形式、指定教科書(P32~42)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
5	確認テスト①		前項の理解確認と復習のための小テストと解答・解説		
6	第2編 人という資源 従業員としての視点 人という資源とは・能力を高める・やる気にさせる ・給与・待遇、福利厚生・労働者の権利		座学形式、指定教科書(P43~55)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
7	健康・安全な職場環境の実現 ・健康管理・理容美容の仕事と健康・理容業、美容業に特徴的な健康問題・作業環境の健康問題		座学形式、指定教科書(P56~63)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
8	従業員としての視点から (従業員としての責任・社会保険①②③・キャリアプラン)		座学形式、指定教科書(P64~82)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
9	第3編 顧客のために ・サービスデザイン(顧客が求める価値・価値の実態・顧客満足の実現・最も重要な価値(人)・価値の多様性・サービスの範囲)		座学形式、指定教科書(P83~95)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
10	マーケティング ・理美容師のマーケティング・マーケティングミックスの要因短期的要因①② 長期的要因①②・サービスのシステム化		座学形式、指定教科書(P96~111)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入		
11	サービスにおける人の役割 ・接客についての理解・良い接客のために・接客の実践①②③④⑤		座学形式、指定教科書(P112~125)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入 ※2年次インターンシップでの重要項目なので、要チェック		
12	接客におけるトラブルと対応 接客で発生が予想される問題 問題を深刻化させない対策・対応		座学形式、指定教科書(P126~131)をもとに重要カ所にアンダーライン・板書・補助プリントへの記入 ※3年次インターンシップでの重要項目なので、要チェック		
13	確認テスト		定期試験前の理解確認と復習のための小テストと解答・解説		
14					
15					
16					
17					
18					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験 70%、出席率20% 学習意欲10% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			・美容学校生としては、経営については遠い未来のことではあるが、従業員としての視点や顧客満足、サービスとはの基本をこの科目と通して学ぶことが重要。定期試験、国家試験に向けて、確認テスト、教科書重要箇所の復習をしっかりと実施する。		
実務経験教員の経歴					

科目名	美容実習（ワインディング）					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	関 雪花・田中 千種・高橋 栞			実務授業の有無	○	
対象学科	ヘアメイク	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	338	
授業概要、目的、 授業の進め方	授業は立位形式実習で行い、下記の内容を2年間かけて学ぶ 1、パーマ技術の習得 2、国家試験課題として合格レベルでの技術習得					
学習目標 (到達目標)	国家試験合格レベルの技術習得					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ワインディング道具一式、ワインディング専用ウィッグ、補助プリント、教科書					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	ワインディングの基礎（前期）			4～5月 ワインディングの巻き方の基礎		
2	ワインディングの全頭巻き（前期）			6～7月 全頭を35分で巻く&定期試験		
3	巻く速さの向上（後期中間）			9～11月上旬 全頭を30分で巻く		
4	巻く速さの向上（後期中間）			11月中旬～12月 全頭を25分巻く		
5	速さ&クオリティーの向上（後期後半）			1～3月全頭20分で巻く&仕上がりチェック&定期試験		
6	ワインディングバランス確認 タイム向上			4月～5月 全頭22分で巻く		
7	ワインディング チェック項目の確認 タイム向上			6月～7月 全頭20分でまく 定期試験		
8	技術&衛生指導			9月～12月 道具配置～衛生試験の確認 定期試験		
9	技術&衛生指導 タイム向上			1月 模擬試験		
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) とする。				パーマの技術を理解する事。巻き方や、構成等が自己流にならないように十分注意する事が必要である。また道具の取り扱い、ウィッグの取り扱いにおいてもお客様と思って履修する事が非常に重要である。		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて5～10年美容業に携わっていたことから、国家試験課題だけではなく現場の技術指導も可能である。					

科目名	美容実習（オールウェーブ）					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	小林 未来・関 雪花・田中 千種・高橋 菜			実務授業の有無	○	
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	363	
授業概要、目的、授業の進め方	授業は立位形式（実習）で行い、下記の内容を2年間かけて学ぶ 1、オールウェーブセッティング技術習得 2、国家試験課題として合格レベルでの技術習得					
学習目標（到達目標）	国家試験合格レベルでの技術の習得					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オールウェーブ用具一式、オールウェーブ専用ウィッグ、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	ウィッグの仕込み～フリンガーウェーブの基礎			9～10月 ウィッグの仕込み～シンガーウェーブの練習		
2	ウェーブの作成&構成の理解			11月 国家試験課題に伴う構成の理解とウェーブの作成		
3	カールの作り方と構成の理解			12月 国家試験に伴うカールの構成と理解		
4	5段目までの作成とトータルバランス			1～3月 国家試験に伴うトータルバランスの理解		
5	6・7段目の習得			4月～5月 全体作成と30分以内で完成		
6	全体バランスの向上&タイムUP			6月～7月 25分で完成 バランス確認		
7	技術&衛生指導			9月～12月 道具配置～衛生試験の確認 定期試験		
8	技術&衛生指導 タイム向上			1月 模擬試験		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				オールウェーブの技術を理解する事。ウェーブの作り方、カールの作り方、構成等が自己流にならないように十分注意する事が必要である。また道具の取り扱い、ウィッグの取り扱いにおいてもお客様と思って履修する事が非常に重要である。		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて5～10年美容業に携わっていたことから、国家試験課題だけではなく現場の技術指導も可能である。					

科目名	美容実習（カット）					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	小林 未来・近 早苗・佐藤 留美子・田中 千種			実務授業の有無	○	
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	124	
授業概要、目的、 授業の進め方	授業は立位形式（実習）で行い、下記の内容を学ぶ 1、基本のレイヤーカットの仕組み 2、国家試験課題として合格レベルでの技術習得					
学習目標 （到達目標）	国家試験合格レベルでの技術の習得					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	カット用具一式、カットウィッグ、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	展開図とデモンストレーションをもとに、ブロックごとのカット			10月 全体のカットの流れの把握、注意事項の確認		
2	展開図を見ずに一通りのカットを実施			11月 30分でカット		
3	技術&衛生指導 タイム向上			12月 20分でカット		
4	模擬試験 技術&衛生指導			1月 20分カット+衛生		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下) とする。				オールウェーブの技術を理解する事。ウェーブの作り方、カールの作り方、構成等が自己流にならないように十分注意する事が必要である。また道具の取り扱い、ウィッグの取り扱いにおいてもお客様とって履修する事が非常に重要である。		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて3~10年美容業に携わっていた国家試験課題だけではなく現場の技術指導も可能である。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	美容実習（実務実習）					【対面授業のみ実施】
担当教員	佐藤留美子・近早苗・小林未来・田中千種・松木達彦			実務授業の有無	○	
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60	
授業概要、目的、授業の進め方	サロンにて実習をお願いし、サロンワークの体験をする。					
学習目標 （到達目標）	サロンワークを通して職業理解を深めることで、残りの学校生活での課題を見つけ克服していく					
テキスト・教材・参考図書・その他資料						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	インターンシップを通して、職業理解を深める			7月～8月 サロンワークを通して、仕事の流れを知る		
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出勤記録（出席率）90% ・ 外部評価 10%				サロンの一員として、就業規則を遵守すること。 仕事を通して、お客様の為に何が出来るのか考え行動できるようにする。		
実務経験教員の経歴	各サロン（美容室）にて美容師免許取得者・現場経験者が指導者となる					

科目名	美容実習（国家試験実技模擬試験）				【対面授業のみ実施】	
担当教員	佐藤留美子・近早苗・小林未来・須佐翼・田中千穂・松木竜彦			実務授業の有無	○	
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	15	
授業概要、目的、 授業の進め方	国家試験本番に向けて準備をする					
学習目標 (到達目標)	国家試験本番で、力を発揮できるようにする					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	国家試験実技の流れを知る			12月 実技を通して実施し、試験事項の確認をする		
2	国家試験本番同様のスケジュールで実施（計5回実施）			1月 反復、国家試験同様の流れを実施		
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
・模擬試験 80% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下) とする。				2年間の集大成として、国家試験合格に向けみんなで協力して 取り組む。 国家試験の流れ・形・規定・衛生など全てにおいて漏れの内容に 把握して実行できるようにする		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて3~10年美容業に携わっていた					

②

科目名	ベーシックメイク					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	関 雪花・田中 千種			実務授業の有無	○	
対象学科	ヘアメイク	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	60	
授業概要、目的、授業の進め方	基本的な3つのパターン（基本・曲線・直線）と3つのパターンを使いモデルに合わせたパーソナルメイクを習得する 1. 相モデルでメイクアップの実践形式で基礎知識・基礎技術の習得					
学習目標（到達目標）	メイクアップの基礎技術と基礎知識を習得すると共に美容師としての接客マナー等を現場で活かせる事を目標とする					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	FORUM MAKE-UP PARIS プロフェッショナルベーシックメイクアップコーステキスト、メイクアップパレット、ブラシセット等メイク用具一式、その他、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	教材配布、FORUM MAKE-UPについてメイクアップの効果、技術者としての心得、道具			使用する道具等の確認、テキスト(P1～7)・DVDを使用する説明と実践		
2	「セッティング～メイクアップベース」カウンセリング～メイクアップ前のスキンケア			テキスト(P28・29) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
3	「コンシーラー～フェイスパウダー」カウンセリング～フェイスパウダー			テキスト(P28・31) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
4	「アイメイク（基本）フレームライン」カウンセリング～アイメイク基本フレームライン			テキスト(P28・34) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
5	「アイメイク（基本）フレームライン、アイブロウ」カウンセリング～アイブロウ			テキスト(P28・35) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
6	「チーク・リップ(基本)～仕上げ」カウンセリング～チーク・リップ・仕上げ			テキスト(P28・39) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
7	基本のフルメイク			実践形式、相モデルで実習（45分）		
8	「アイメイク（曲線）フレームライン」カウンセリング～アイメイク曲線フレームライン			テキスト(P28・34) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
9	「アイメイク（曲線）フレームライン、アイブロウ」カウンセリング～アイブロウ、トリミング			テキスト(P28・35) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
10	「チーク・リップ（曲線）～仕上げ」カウンセリング～チーク・リップ・仕上げ			テキスト(P28・39) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
11	曲線のフルメイク			実践形式、相モデルで実習（45分）		
12	「アイメイク（直線）フレームライン」カウンセリング～アイメイク曲線フレームライン			テキスト(P28・34) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
13	「アイメイク（直線）フレームライン、アイブロウ」カウンセリング～アイブロウ、トリミング			テキスト(P28・35) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
14	「チーク・リップ（直線）～仕上げ」カウンセリング～チーク・リップ・仕上げ			テキスト(P28・39) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
15	直線のフルメイク			実践形式、相モデルで実習（45分）		
16	「顔分析・筆記対策」理想的な顔バランス・パーツバランス、輪郭の印象、モデルのメイク構築			テキスト(P10・40) 重要カ所にアンダーライン・板書、実践形式、相モデルで実習		
17	パーソナルメイク 練習			実践形式、相モデルで実習（45分）		
18	パーソナルメイク 実技テスト			相モデルでテスト（45分）		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
・実技定期試験 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				FORUM MAKE-UP PARISのメイクアップ技術をベースにテキストと教務のデモンストレーションをしっかり見て、学生が相モデルの実践形式で基本技術、理論、接客姿勢、マナーなどの基礎知識を習得をする。		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて5～10年美容業に携わっていたことから、現場の技術指導も可能である。					

科目名	ヘアアレンジ&クリエイティブメイク					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	関 雪花・田中 千種		実務授業の有無	○		
対象学科	ヘアメイク	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	176	
授業概要、目的、授業の進め方	将来美容師経験を積み重ね、ヘアメイクに特化した現場で活用・活躍できるメイク・ヘアアレンジの基礎及び応用理論・技術を現場経験豊富な内勤教務と第1線で活躍している外部講師より学ぶ。					
学習目標 (到達目標)	基本的なヘアメイクスタイルから時流の流行のスタイルまでを身につけると共に現場実習（インターンシップ）でも対応できる知識と技術を身につける					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	内部オリジナルテキスト、メイクアップパレット、ブラシセット・アイロン等ヘアメイク用具一式、その他					
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考	
1	【ヘア基本①】専用ウイッグを使用しブラッシング・コーミング・ゴム止め技術の習得				テキストを用い説明後、教員によるデモ学生による実践	
2	【ヘア基本②】各種ヘアピン使用方法					
3	【ヘア基本③】編み込みⅠ（二つ編み・三つ編み・表編み）					
4	【ヘア基本④】編み込みⅡ（裏編み・縄編み・4つ編み）					
5	【ヘア基本⑤】ヘアアイロンテクニックⅠ（ストレート・筒形）					
6	【ヘア基本⑥】ヘアアイロンテクニックⅡダウンスタイル					
7	【ヘア基本⑦】ヘアアイロンテクニックⅡリバース・フォワード巻き					
8	【ヘア基本⑧】ヘアアイロンテクニックⅢ ハーフアップスタイルを完成させる					
9	【ヘア基本⑨】ヘアアイロンテクニックⅢ ストレートアイロンを使用したのハーフアップスタイルを完成させる					
10	【ヘア基本⑩】①~⑨までの技術を使い、アップスタイルを完成させる					
11	【クリエイティブメイク①】ナチュラルメイクⅠ デモ&実習				テキストを用い説明後、教員によるデモ学生による実践	
12	【クリエイティブメイク②】ナチュラルメイクⅡ デモ&実習					
13	【クリエイティブメイク③】ナチュラルメイクⅢ デモ&実習					
14	【クリエイティブメイク④】質感メイクⅠ（フェミニン） デモ&実習					
15	【クリエイティブメイク⑤】質感メイクⅡ（マッシュ） デモ&実習					
16	【クリエイティブメイク⑥】質感メイクⅢ（ゴージャス） デモ&実習					
17	【クリエイティブメイク⑦】質感メイクⅣ（セクシー） デモ&実習					
18	【クリエイティブメイク⑧】質感メイクⅤ（ヘルシー） デモ&実習					
19	【クリエイティブメイク⑨】撮影メイクⅠ（コントロールメイク）					
20	【クリエイティブメイク⑩】撮影メイクⅡ					
21	【クリエイティブメイク⑪】撮影メイクⅢ					
22	【クリエイティブメイク⑫】撮影メイクⅣ					
23	【クリエイティブメイク⑬】撮影メイクⅤ					
24	【クリエイティブメイク⑭】作品作り&撮影①				モデル・技術者に分かれて作品作り&撮影	
25	【クリエイティブメイク⑮】作品作り&撮影②					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
・作品作り 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				ヘアメイクにとって必要不可欠なヘア・メイクの基礎技術を、しっかり理解する事。また、各スタイル毎での重要な所をテキストへのアンダーライン、書き込み等をする事。各教務によるデモンストレーションをしっかりと見る事が非常に重要である。最終的に各自オリジナルの作品作りと撮影を実施		
実務経験教員の経歴	いずれの教員も美容室現場にて5~10年美容業に携わっていたことから、現場の技術指導も可能である。					

科目名	ヘッドスパ&ブロー					【対面授業のみ実施】
担当教員	小林 未来 近 早苗 鈴木 明美 須佐 翼 岡村 智代美 佐藤留美子 関雪花 田中千穂 松木達彦 高橋 菜 小野 塚 住那			実務授業の有無	○	
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	88	
授業概要、目的、 授業の進め方	授業は実習室にて2人1組のペアで行い、2年間で以下の内容を習得する。 1. シャンプー、ブローの基本的な手順を習得する。 2. サイドシャンプー、バックシャンプーの両シャンプー台に対応できる技術を習得する。					
学習目標 (到達目標)	1.両シャンプー台、ドライヤー、ブローブラシの操作方法の習得。2.シャンプー、ブローの手順を習得。 3.髪質、骨格に合わせたシャンプーイング、ブローが出来る					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	美容技術理論1 美容実習1 シャンプー道具、ブロー道具一式 補助プリントなど					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	シャンプー(以下SP)の目的、SP台の使用法、 SPクロス付け方、ウェットまでの手順 以上を実践			テキストを用い説明後、教員によるデモ 学生による実践		
2	前回の復習をした後、SPの手順を実践			テキストを用い説明後、教員によるデモ 学生による実践		
3	ペアを換え、ドライの手順をデモ、SP後に実践			テキストを用い説明後、教員によるデモ 学生による実践		
4	ペアを換え、ハンドブローの手順をデモ、SP後に実践			テキストを用い説明後、教員によるデモ 学生による実践		
5	ペアを換え、前回までの手順を実践			手順確認などにテキストを用い、実践		
6	ペアを換え、ブローの手順をデモ、SP後に実践			テキストを用い説明後、教員によるデモ 学生による実践		
7	ペアを換え、SPの回数を増やし、前回までの手順を実践			テキストを用い説明後、教員によるデモ 学生による実践		
8	ペアを換え、前回までの手順を実践し、学生間ペアでスタイリングを し合う			スタイリング方法の指導など行う		
9	ペアを換え、前回までの手順を実践し、より満足度の高い技術を提供 できるよう実践			必要箇所のデモ、実習室を巡回し不足している技術指導		
10	ペアを換え、前回までの手順を実践し、より満足度の高い技術を提供 できるよう実践			必要箇所のデモ、実習室を巡回し不足している技術指導		
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20%				相モデルでの授業となる事から、シャンプー&ブローの知識・技術 の修得はもちろんではあるが、サービス業の側面から、声掛け、 気遣い、思いやり等の気持ちを持ち施術に当たる事。		
実務経験教員の経歴		いずれの教員も美容室現場にて3~10年美容業に携わっていたことから、現場の技術指導も可能である。				

科目名	修了制作					【対面授業のみ実施】
担当教員	関 雪花・田中 千種			実務授業の有無		
対象学科	ヘアメイク	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	30	
授業概要、目的、授業の進め方	1年次で習得した技術(カット、ヘアアレンジ、ヘアカラー、メイク等)を学生主体で企画構成をしたヘアショーを作りステージ発表をする。					
学習目標 (到達目標)	1年次で習得した技術(カット、ヘアアレンジ、ヘアカラー、メイク等)を学生主体で企画構成をしたヘアショーを作りステージ発表をする。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	前年度の修了制作の画像					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	テーマ・ショーの概要構築			意見・要望を出して話し合い		
2	テーマ決定、構成・音楽(BGM)・ライティングを決める。			モデル・技術者・機材等担当を決める。		
3	テーマに沿ってのヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウオーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成			意見を出し合い実際にヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成		
4	ヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウオーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成			グループごとヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成		
5	クラス紹介画像			クラス全員の紹介画像作成		
6	校内リハーサル			本番の時間・音楽・動きをして確認をする		
7	前日会場リハーサル			本番の時間・音楽・動きをして確認をする		
8	修了制作ショー当日本番			多くの保護者の前で1年間の学習の成果をヘアショーとしてステージ発表する		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
出席率 80% 学習意欲 20%			1年次で習得した技術をクラス内で一致団結してコミュニケーションを図り、構成・音楽などすべてを構築してがくしゅうの成果をステージ発表する。			
実務経験教員の経歴						

科目名	卒業制作					【対面授業のみ実施】
担当教員	小林 未来、近 早苗、田中千種、佐藤留美子、松木 達彦			実務授業の有無		
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30	
授業概要、目的、授業の進め方	2年間で習得した知識と技術(カット、ヘアアレンジ、ヘアカラー、メイク等)を活かし、学生主体で企画構成をしたヘアショーを作りステージ発表をする。					
学習目標 (到達目標)	2年間で習得した知識と技術(カット、ヘアアレンジ、ヘアカラー、メイク等)を学生主体で企画構成をしたヘアショーを作りステージ発表をする。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	1年次修了制作での経験と過去の映像や、外部講師による特別セミナー等					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	テーマ・ショーの概要構築			意見・要望を出して話し合い		
2	テーマ決定、構成・音楽(BGM)・ライティングを決める。			モデル・技術者・機材等担当を決める。		
3	テーマに沿ってのヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウオーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成			意見を出し合い実際にヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成		
4	ヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウオーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成			グループごとヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成		
5	クラス紹介画像			クラス全員の紹介画像作成		
6	校内リハーサル			本番の時間・音楽・動きをして確認をする		
7	前日会場リハーサル			本番の時間・音楽・動きをして確認をする		
8	卒業制作ショー当日本番			多くの保護者や在校生に向け、2年間の集大成である学習成果をヘアショーとしてステージ発表する		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20%				2年間で習得した知識と技術を、学生主体でクラス一丸となりコミュニケーションを図りながら、構成・音楽などすべてを構築して学習の成果をステージ発表する。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	選択メイクⅠ				【対面授業のみ実施】		
担当教員	関雪花・田中千種・小林未来・斎藤 和江			実務授業の有無	○		
対象学科	ヘアメイク		対象学年	2年		開講時期	通年
必修・選択	選択		単位数	—		時間数	146
授業概要、目的、授業の進め方	1年次に学んだヘアメイクの知識・技術ベースに更にヘアメイク技術者として「雑誌・TV・ブライダル」等で活躍している講師より、複数のテーマに添ってデモンストレーションと実習を通して必要な知識と技術を身につける						
学習目標 (到達目標)	基本的な知識と技術をベースとして、よりクリエイティブな作品作りを通して、多様化するヘアメイク業界で活躍できる技術と知識を学ぶ						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナルテキスト・ヘアメイク用具一式・筆記用具等						
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考	
1	オリエンテーション・新規教材配布と説明・今後の方向性説明&動機付け					オリジナルテキスト・各自で収集した年代別画像をデッサンに起こし、ヘアメイクの実習・IPAD&スマホでの撮影・作品ストック	
2	トレンドメイクとトレンドカラーを学び、それに合った技術を身につける						
3	年代別メイクⅠ 30年代 ※年代特徴を画像を通して感じ、作品作りへと落とし込む						
4	年代別メイクⅡ 50年代						
5	年代別メイクⅢ 60年代						
6	年代別メイクⅣ 80年代						
7	年代別メイクⅤ 90年代						
8	クリエイティブヘアメイク作品作り(自由制作)					・特別講師によるデモンストレーション及び実習 ・各チームに分かれてのテーマ設定、研究、実践	
9	ブライダルヘアメイク基本Ⅰ(洋装のヘアアレンジとメイク①)						
10	ブライダルヘアメイク基本Ⅱ(洋装のヘアアレンジとメイク②)						
11	ブライダルヘアメイク基本Ⅲ(洋装ヘアアクセサリ-ブーケ作成)						
12	ブライダルヘアメイク基本Ⅳ(和装メイクとフィッティング)						
13	ブライダルヘアメイク応用Ⅰ(ドレスフィッティング基本とドレスに合わせたメイク①)						
14	ブライダルヘアメイク応用Ⅱ(ドレスフィッティング基本とドレスに合わせたメイク②)						
15	ブライダルヘアメイク応用Ⅲ(トータルコーディネート・撮影知識習得)						
16	模擬結婚式(各チームにてテーマを決め模擬結婚式の作品作りと撮影)						
17	クリエイティブヘアメイク作品作り(自由制作)Ⅰ						2年間の集大成の作品作りとプロカメラマンによる撮影技術も並行して学ぶ
18	クリエイティブヘアメイク作品作り(自由制作)Ⅱ						
19	プロカメラマンによる撮影Ⅰ						
20	プロカメラマンによる撮影Ⅱ						
評価方法・成績評価基準					履修上の注意		
・作品作り 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。					現場に必要な知識・技術スキルを身につけると共に、技術だけではなく技術者としてお客様・モデルさんとのコミュニケーションもしっかりとれるようにしていく		
実務経験教員の経歴	各教員それぞれ美容師として美容現場で3~12年携わっていた。美容関連企業経営ヘアメイクの現場で20年以上						

科目名	選択メイクⅡ				【対面授業のみ実施】	
担当教員	関 雪花・田中 千種・近早苗・阿部 久美子・佐藤 圭			実務授業の有無	○	
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	146	
授業概要、目的、授業の進め方	1年次に学んだヘアメイクの知識・技術ベースに更にヘアメイク技術者として「舞台・イベントバックヤード・特殊メイク」等で活躍している講師より、複数のテーマに添ってデモンストレーションと実習を通して必要な知識と技術を身につける					
学習目標 (到達目標)	基本的な知識と技術をベースとして、特殊メイク他、非日常的な作品作りを通して、業界で活躍できる技術と知識を学ぶ					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナルテキスト・ヘアメイク用具一式・筆記用具等					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション・新規教材配布と説明・今後の方向性説明&動機付け			・特別講師によるデモンストレーション&実習		
2	【舞台メイク】Ⅰ (ベースメイク①)					
3	【舞台メイク】Ⅱ (ベースメイク②)					
4	【舞台メイク】Ⅲ カラーコントロール① (アイシャドー・ハイライト・チーク・リップ等)					
5	【舞台メイク】Ⅳ カラーコントロール② (アイシャドー・ハイライト・チーク・リップ等)					
6	【舞台メイク】Ⅴ 撮影映えメイクのポイント					
7	【ボディペインティング】基本Ⅰ (舞台メイクの基礎技術を応用してのボディメイク)					
8	【ボディペインティング】基本Ⅱ (舞台メイクの基礎技術を応用してのボディメイク)					
9	【特殊メイク】Ⅰ (やけど・傷・アザ等の基本を学ぶ)					
10	【特殊メイク】Ⅱ (作成基本技術を元に各自自由制作)					
11	【作品作り&撮影】Ⅰ (舞台メイクとボディペイントを駆使しての自由課題作品作り)			各チーム別に作品テーマ設定～完成までさせる		
12	【作品作り&撮影】Ⅱ					
13	【作品作り&撮影】Ⅲ					
14	【作品作り&撮影】Ⅳ					
15	プロカメラマンによる撮影Ⅰ			2年間の集大成の作品作りとプロカメラマンによる撮影技術も並行して学ぶ		
16	プロカメラマンによる撮影Ⅱ					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
・作品作り 70% ・学習意欲 10% ・出席率 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				様々なメイク技術を学ぶことで、仕事の幅・活躍の場を自ら広げていくきっかけにする。 通常のヘアメイクはもちろん、非日常的な作品作りでの現場で活躍できる技術・知識を身につける		
実務経験教員の経歴	各教員それぞれ美容師として美容現場で3~12年携わっていた。特殊メイクの現場で20年以上					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名		就職実務				【対面授業と遠隔授業の併用実施】	
担当教員	小林未来・関 雪花・田中 千穂・高橋 菜・植木 絵美			実務授業の有無			
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年間	開講時期	通年		
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	95		
授業概要、目的、授業の進め方	就職活動に必要なスキルを身につける 履歴書の書き方・挨拶の仕方など基本的な対策						
学習目標 (到達目標)	主体的に物事を考え、自主的に動き、希望就職を叶える						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社 ワイネット 勝つための就職ガイド SUCCESS ① BeStar Magazine RECRUIT GUIDE BOOK 美容学生のための就活の教科書 ② オリジナル補助テキスト						
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考			
1	就職活動の心構え、求職登録面接に向けて書類作成・面接練習			1年次 9月～12月 ①テキスト (P6～33)講義形式で行い、テキストにアンダーラインやグループディスカッションを行う			
2	就職書類の書き方、企業研究の方法、就職活動の流れを知る			1年次 1月～3月 ①テキスト (P35～50)講義形式で行い、テキストにアンダーラインやグループディスカッションを行う			
3	就職ガイダンスに向けての企業研究、			2年次 4月 求人票を元に、一人が複数店舗研究 最後に、クラス全員で発表し情報をシェアする			
4	自己PR・志望動機の作成			2年次 5月 ②テキストを使用し、読み合わせ、アンダーラインを引く。ワークシートを利用して抽出していく			
5	模擬面接の実施			2年次 6月 グループを組み、面接官と受験者・撮影者に分かれ面接。ビデオを見ながらフィードバックし改善をはかる			
6	インターンシップに向けての対策、必要書類の説明			2年次 7月 ロープレを行い、実際のサロンの動きを理解する			
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
評価方法・成績評価基準				履修上の注意			
出席率 80% 学習意欲 20%				社会に出るにあたり、仕事の意味についてしっかり考え、自分の将来を考えるきっかけにしていく。 主体性・自主性を持って就職活動にあたり、社会人としてのルール・マナーも同時に身につける。			
実務経験教員の経歴							

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	コミュニケーション実践					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	小林未来・関 雪花・田中 千種・高橋 菜			実務授業の有無		
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	79	
授業概要、目的、授業の進め方	人間力の向上のために行う。クラス内でのディスカッションや、団結力・協調性の向上を図っていく。					
学習目標 (到達目標)	人間力育成・向上					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	入学時・進級時オリエンテーション			入学時のコミュニケーションとしてゲーム等を交え実施		
2	学園祭			1.2年次7月 学園祭を通し、よりいっそうのコミュニケーションを図る		
3	大運動会			1.2年次10月 大運動会を通し、協調性の向上を図る		
4	外部セミナー			人間力セミナー、美容セミナー開催		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20%				学校行事・イベント・特別セミナー等は、コミュニケーション能力、協調性、積極性をはぐくむための重要な科目です。また、学部講師セミナーにおいては、現場の講師からの今の流行・最新技術を学べる非常に貴重な時間となるので、将来のためにしっかりと学ぶこと。		
実務経験教員の経歴						

科目名	総合人間性学習 【対面授業と遠隔授業の併用実施】				
	小林未来・関 雪花・田中 千種・高橋 栞			実務授業の有無	
対象学科	ヘアメイク	対象学年	2年間	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	156
授業概要、目的、 授業の進め方	人間力向上のために、必要な事柄を学習や体験で身に付けていく。クラス目標の決定やディスカッションなどクラス内の団結力・協調性向上や個人目標の決定・振り返りなど様々な事が鰐をクラス単位の授業として取り組めます。				
学習目標 (到達目標)	人間力、協調性、の向上、個人目標の設定				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	実践行動学テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	実践行動学 Part1 意欲的な心構えについて		テキストを使い、ディスカッション&記入形式で行う		
2	マジックドア1 夢と目標について		P1~P7 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
3	マジックドア2 誤った思い込みと言ひ訳		P8~P13 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
4	マジックドア3 行動のよりどころと心構え		P14~P22 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
5	マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために		P23~P32 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
6	マジックドア5 目標を設定しよう		P33~P42 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
7	国内研修 ホスピタリティーについて		11月 ディズニーランドのホスピタリティーを学ぶ		
8	実践行動学 Part2 自分の可能性を広げよう		テキスト使い、ディスカッション&記入形式で行う。		
9	マジックドア1 プラス思考が自分の可能性を大きく広げる		P1~P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
10	マジックドア2 考え方を換えれば行動が変わる		P5~P11 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
11	マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決できる		P12~P19 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
12	マジックドア4 あなたのコミュニケーションを見直そう		P20~P27 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
13	マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる		P28~P36 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
14	実践行動学Part3 社会へ出る準備を始めよう マジックドア1 入学から今日までの成長を実感しよう		P1~P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
15	マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう マジックドア3 自分が最大限に活きる働き方とは		P5~P10 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える P11~P14 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
16	マジックドア4 将来を描いてみよう		P15~P20 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
17	マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう		P21~P24 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
18	海外研修 グローバルスタンダード教育の一環として、幅広い世界の技術や知識を吸収する。		2年次11月~12月 教育提携校での研修		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20%。			学生の学習意欲が向上するようになぜ必要なのかを、始める前にしっかり導入し、環境を整える事が重要である。		
実務経験教員の経歴					

科目名	メイクアップ実習実習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	条 由香里、佐藤 圭		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	241	
授業概要、目的、授業の進め方	1.メイクアップの基本テクニックを身に付け、「FORUM MAKE-UP PARTS」の修了証の取得を目指す 2.撮影時のメイクアップ技術を学び、作品を撮影し、フォトコンテストの入賞を目指す					
学習目標 (到達目標)	「FORUM MAKE-UP PARTS」修了証取得					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	テキスト「MAKE-UP COURSE TEXT」、「HOW TO MAKE FACES」、メイク道具一式、補助プリント					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
4月	教材配布、テキスト「MAKE-UP COURSE TEXT」座学		講義 テキストp6～25			
5月	スキンケア、メイクアップ実習（基本、曲線）		実習 テキストp27～39			
6月	メイクアップ実習（直線）		実習 テキストp32～39			
7月	パーソナルメイク、試験対策、「FORUM MAKE-UP PARTS」修了試験		実習 テキストp40～45			
9月	「City&Guilds」の試験について、テキスト「HOW TO MAKE FACES」座学		実習 テキスト1 p4～5、11～39			
10月	ベースメイク、ソフトメイク、シャープメイク		実習 テキスト2 p4～7			
11月	ソフト&シャープメイク（半顔ずつ）		実習 テキスト2 p4～7			
12月	期末試験に向けて、模擬試験、期末試験		相モデルでの実習、チェックング			
	専攻メイク					
9月	撮影に向けた作品構築（グループでの役割決定、作品のイメージを固める）		3人1グループ（モデル、ヘア担当、メイク担当）での実習、チェックング			
10月	撮影に向けた作品構築（ヘア、メイクのバランスを考える）		3人2グループ（モデル、ヘア担当、メイク担当）での実習、チェックング			
11月	撮影に向けた作品構築（衣装、小物との最終バランスを考える）		3人3グループ（モデル、ヘア担当、メイク担当）での実習、チェックング			
12月	作品構築、撮影		3人4グループ（モデル、ヘア担当、メイク担当）での実習、チェックング			
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
実技試験 80%、学習意欲 15% レポート 5% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			基本的なメイク技術をしっかりと認識して実習に臨むこと。積極的に実習に取り組み、モデルへの配慮、気遣い、マナーを守ること。毎回、実習後にはメイクのデッサンを記入し、前期、後期の期末試験時に提出すること。			
実務経験教員の経歴	現在もメイクアップアーティストとして10～15年間携わっており、基本的メイク技術・知識はもちろん、最新技術・トレンドの指導も可能。					

科目名	メイクアップ実習実習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	条 由香里、佐藤 圭		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	302	
授業概要、目的、授業の進め方	1.メイクアップの基本、応用のテクニックを身に付け、「City&Guilds Skill. 1」の国際ライセンス取得を目指す 2.撮影時のメイクアップ技術を学び、作品を撮影し、フォトコンテストの入賞を目指す					
学習目標 (到達目標)	City&Guilds Skill. 1の取得					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	テキスト「HOW TO MAKE FACES」、メイク道具一式、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
4月	「ナチュラル フェミニン」のデモ、実習			実習 テキスト2のp10～13		
5月	「ナチュラル マニッシュ」のデモ、実習			実習 テキスト2のp14～17		
6月	「ナチュラル ゴージャス」のデモ、実習			実習 テキスト2のp18～21		
7月	これまでのテーマの復習、期末試験					
9月	「オリエンタル セクシー」のデモ、実習			実習 テキスト2のp22～25		
10月	「ナチュラル ヘルシー」のデモ、実習			実習 テキスト2のp26～29		
11月	City&Guilds試験対策、模擬試験			相モデルでの模擬試験に向けた実習		
12月	City&Guilds試験					
1月	年代別メイク			実習 テキスト1のp7～10		
	専攻メイク					
4月	撮影メイクに向けてのコントロールメイク（ソフト）			相モデルでの実習、チェックング		
5月	撮影メイクに向けてのコントロールメイク（シャープ）			相モデルでの実習、チェックング		
6月	撮影に向けた作品構築（ヘア）			相モデルでの実習、チェックング		
7月	撮影に向けた作品構築（メイク）			相モデルでの実習、チェックング		
9月	作品構築、撮影			相モデルでの実習、チェックング		
	特殊メイク					
1月	「老け顔」「火傷」「傷」の特殊メイクのデモ、実習			相モデルでの実習、チェックング		
2月	「キャッツ」「ライオンキング」の舞台メイクのデモ、実習			相モデルでの実習、チェックング		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 80%、学習意欲 15% レポート 5% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				1年生で学んだ基本的なメイク技術をしっかりと認識して実習に臨むこと。積極的に実習に取り組み、モデルへの配慮、気遣い、マナーを守ること。毎回、実習後にはメイクのデッサンを記入し、前期、後期の期末試験時に提出すること。		
実務経験教員の経歴	現在もメイクアップアーティストとして10～15年間携わっており、基本的メイク技術・知識はもちろん、最新技術・トレンドの指導も可能。					

科目名	ネイル実習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	齋藤 明子・水落 眞子		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	226時間	
授業概要、目的、授業の進め方	①当日のシラバスを伝え、到達目標を確認 ②デモンストレーション ③相モデルで演習・チェック					
学習目標 (到達目標)	ネイリスト技能検定試験3級・ジェル検定初級レベルの技術と知識を身に付け、検定取得をする					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JNAテクニカルシステム ベーシック、JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	教材配布、衛生・消毒・ネイルケアの流れ		JNAテクニカルシステム ベーシックP38、39、70～P73、74			
2	座学		JNAテクニカルシステム ベーシックP8～P29			
3	ネイルケア デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81）			
4	フラットアート デモンストレーション後、チップにて実習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP118～P134）			
5	エンボスアート デモンストレーション後、チップにて実習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP141）			
6	座学		JNAテクニカルシステム ベーシックP38～P67			
7	日本ネイリスト協会名誉本部認定講師 萩原直見先生による特別講義		JNAテクニカルシステム ベーシックP30～36、76）			
8	ネイルカラーリング デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP82～84）			
9	フラットアート 3級用ネイルアート演習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP124～P127）			
10	相モデルにて両手ネイルケア		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81）			
11	相モデルにて両手ネイルカラーリング		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP82～84）			
12	相モデルにて両手ネイルケアカラーリング		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P84）			
13	ネイリスト技能検定試験3級 要項確認		JNEC主催 ネイリスト技能検定試験要項			
14	ネイリスト技能検定試験3級対策 実習・筆記		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P84）			
15	ジェルの特性と扱い方・知識		JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P18～P23）			
16	ジェルの塗り方 デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P56～P60）			
17	ジェルアート（ピーコック） デモンストレーション後、チップにて実習		実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P96～P99）			
18	ジェル検定 初級対策 実習・筆記		実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P18～P23、P56～P60、P96～P99）			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 10 %、実技試験 10 %、学習意欲 70 % レポート 10 % 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			道具の扱い方、手順を学ぶだけでなく、お客様の手の預かり方や誘導の仕方も丁寧かつスマートに扱うことを身に付けます。各章毎での技術の重要な所を教科書で確認し、実習を行いましょう。また、定期テスト、各検定試験合格に向けての練習も重要です。			
実務経験教員の経歴	ネイリストとして現在活躍中。日本ネイリスト協会 本部認定講師であり、検定課題はもちろ現場で必要な知識・技術指導も可能。					

科目名	ヘアアレンジ					【対面授業のみ実施】
担当教員	鈴木 きい		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	18	
授業概要、目的、 授業の進め方	ヘアアレンジの基礎技術と応用スタイルを習得。 ヘア&メイクとしてトータルサービスの技術提案ができるようにする。また、進路選択の幅を広げる。 ウィッグを使用し実践。					
学習目標 (到達目標)	ヘアアレンジの基礎技術と応用スタイル制作の習得					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ウィッグ、ヘアアレンジの道具、補助プリント					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	道具の使い方、ブラッシング、パーティング、一束縛り、 ピンニング		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
2	スタイル制作「アップスタイル」 (アイロンノ巻き方、散らし方)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
3	スタイル制作「おだんごスタイル」 (すき毛の使い方)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
4	スタイル制作「ブライダルスタイル」 (バックコーミングのやり方)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
5	スタイル制作「編み込みスタイル」 (表三つ編み、表編み込の基本)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
6	スタイル制作「編み込み応用スタイル」、「自由制作」 (ロープ編み込、フィッシュボーン)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
学習意欲 60% 課題制作 40% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下) とする。			ウィッグで制作するが、お客様と想定し施術すること。 習った技術を自主練習や友人知人で実践することで技術の向上を 目指すこと。			
実務経験教員の経歴	美容室現場にて11年美容業に携わっていたことから、より現場に近い、使えるの技術指導も可能 である。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	フェイシャル理論					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村 亜友			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	33	
授業概要、目的、 授業の進め方	メイクのベースである肌。肌の知識の基本を学ぶことでメイクスキルの向上を目指します。 前期：理論 後期：実技					
学習目標 (到達目標)	皮膚の構造を知る。クレンジングの基本を学ぶ。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	補助プリント、フェイシャル実習道具					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	理論 フェイシャルについて			講義 補助プリント		
2	理論 皮膚の構造・自分の肌を分析・発表			講義 補助プリント		
3	理論 皮膚の構造・細胞・血液			講義 補助プリント		
4	理論 皮膚の構造・循環			講義 補助プリント		
5	理論 皮膚の構造/夏休み課題について「モデルさんの肌状態」			講義 補助プリント		
6	理論 皮膚の構造/夏休み課題発表			講義 補助プリント		
7	フェイシャルケアの基本（自分の肌に触れる）			クレンジング手順の解説、相モデル実習		
8	フェイシャルケアの基本（クレンジングと拭き取り）			相モデル実習		
9	フェイシャルケアの基本（クレンジングと拭き取り）			相モデル実習		
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 20%、学習意欲 80% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				教材を使用し、肌に異変を感じた場合はすぐに申し出る事。実習をする際は、モデルへの配慮、気遣い、マナーを守る事。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	サロンマネージメント					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、大島莉奈・田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	159	
授業概要、目的、授業の進め方	各教務・卒業生などの体験談を伝えながら、「働く」ということへの意識付けを行う。ロープレを行いながら、店頭・サロンに立った際のイメージを沸かせる。 ①美容部員・ネイリストの仕事について					
学習目標 (到達目標)	店頭・サロンに立ったことを想定し、好感度のある立ち振る舞いは出来るようになる。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	【1年生】様々な美容業界の職種があることを知る			セイファート、リクルートなどの講演		
2	【1年生】サロン体験			各自で希望する店舗やサロンに出向き、観察する。		
3	【1年生】お出迎え～お見送りのロープレ			言葉遣い、誘導の仕方などの実習		
4	【2年生】美容部員・ネイリストの仕事について			現場経験談を教務から伝える		
5	【2年生】1日、1か月、年間のスケジュール、ワークパターンを知る			補助プリントやネットを使い、シーズン毎・年齢層毎のトレンドを知る		
6	【2年生】「愛される美容部員・ネイリスト」として必要なこと			卒業生の話		
7	【2年生】お客様をつかむ店頭・サロンについて			補助プリントを使い、自分のサロンを考えてみる		
8	【2年生】クレーム・トラブルを乗り越えるためには			現場体験談を元に補助プリントにまとめる		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 70%、レポート30% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				現場を知ることが、とても重要です。先生方や卒業生の体験談を聞き、今、自分に不足しているものなどを知ることが大切です。接客に必要な言葉遣いや誘導の仕方、ご提案の仕方などを学びましょう。そのために、実際に店舗やサロンに行くなどし体験することも大きな学びを得ることができるでしょう。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	モニター実習					【対面授業のみ実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	71	
授業概要、目的、授業の進め方	①店長決め ②サロン名・メニュー決め ③準備物の作成					
学習目標 (到達目標)	クラスで協力し、サロンを運営する。積極性・責任感・協力することを学ぶ。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	【1年生】店長決め、サロン名・メニュー決め			学生ミーティング		
2	【1年生】準備物の作成			実習・制作		
3	【1年生】ロープレ			実習		
4	【1年生】保護者に対してのモニターサロン運営			実習		
5	【1年生】在校生に対してのモニターサロン運営			実習		
6	【2年生】店長決め、サロン名・メニュー決め			学生ミーティング		
7	【2年生】準備物の作成			実習・制作		
8	【2年生】集客方法			学生ミーティング		
9	【2年生】ロープレ			実習		
10	【2年生】一般の方に対してのモニターサロン運営			実習		
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 100% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				店長を中心に、話し合いを行いながら進めていきます。報告・連絡・相談・確認の徹底をすることで、クラスが共通認識で準備をすることができます。周囲の様子を見ながら、手伝うのはもちろん声掛けを行うようにしましょう。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	ブライダル					【対面授業のみ実施】
担当教員	齋藤 和江		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	122	
授業概要、目的、授業の進め方	ブライダルに関する基礎知識やドレスフィッティング、ヘアメイク、アテンドなどを習得。また、和装着付けの技術を学び、山野流初中伝の許状取得を目指す。					
学習目標 (到達目標)	ブライダルに関する基礎知識やヘアメイク技術の習得。また、山野流初中伝の許状取得。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	メイク道具、ヘアアレンジの道具、補助テキスト、					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	姿勢、マナー、身だしなみについて		講義、実習			
2	ヘアの基本（ウィッグでのホットカーラー、アイロンの巻き方）		ウィッグを使用した実習			
3、4	ヘアの基本（相モデルで浴衣に合わせたヘアアレンジ練習）		相モデルでの実習			
5、6	ブライダルメイク（白ドレスからカラードレスにチェンジのやり方、和装ブライダルメイク）		相モデルでの実習			
7、8	ブライダルヘアメイクのトータルコーディネート		相モデルでの実習			
9	洋装支度デモ（挙式スタイルからパーティアレンジにチェンジ）		相モデルでの実習			
10～13	ブライダルドレスショーに向けての制作、練習、実施		グループごとでの練習、実習			
	着付け					
1、2	補正の作り方、浴衣の着付け		相モデルでの実習			
3、4	長襦袢の衿とじ確認と小紋の着付け、名古屋帯の九重太鼓		相モデルでの実習			
5、6	留袖の着付けと帯結び		相モデルでの実習			
7、8	振袖着付けと長襦袢の準備、二扇		相モデルでの実習、査定			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
実技試験 80%、学習意欲 20% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			意欲を持って、積極的に授業に参加すること。ドレス、着付け共にフィッティングの授業の際は、ドレスの着脱がしやすい服装で参加。			
実務経験教員の経歴	美容師・ブライダリストとして15年間携わっており、基本的ブライダル技術・知識はもちろん、最新技術・トレンドの指導も可能。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	制作実習					【対面授業のみ実施】
担当教員	武美幸・大島莉奈		実務授業の有無			
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	47時間	
授業概要、目的、授業の進め方	卒業制作に向けての構築・制作					
学習目標 (到達目標)	卒業制作ショーの企画構成					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	1年次修了制作での経験と過去の映像やメイク関連授業・ネイル授業など					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	リーダー選出			クラスから立候補・推薦でリーダーを決定する。		
2	テーマ・ショーの概要構築			意見・要望を出して話し合い		
3	モデル選出			テーマに合ったモデル選出を話し合い決定する。		
4	ヘアメイク・ネイル・衣装構築			担当者・チームに分かれデザインを構築する。		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 100% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				リーダーを中心に、話し合いを行いながら進めていきます。報告・連絡・相談・確認の徹底をすることで、クラスが共通認識で準備をすることができます。周囲の様子を見ながら、手伝うのはもちろん声掛けを行うようにしましょう。		
実務経験教員の経歴						

科目名	パーソナルカラー					【対面授業のみ実施】
担当教員	平 知香子		実務授業の有無			
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60	
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1の取得を目指し、カラーの基本的な知識を習得する。またドレープを使用したパーソナルカラーの見極め方も学ぶ。					
学習目標 (到達目標)	パーソナルカラーの基本的な知識と技術の習得。またパーソナルカラー検定モジュール1の取得。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	テキスト「はじめてのパーソナルカラー」、補助プリント、配色カード、カラードレープ					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	パーソナルカラー検定について、パーソナルカラーとは			講義 テキスト p 6～17		
2	色が見える条件と感情効果			講義 テキスト p 18～25		
3	色のしくみを学びましょう			講義 テキスト p 26～41		
4	基本の配色方法とは			講義 テキスト p 42～47		
5	フォーシーズンってなあに？			講義 テキスト p 52～57		
6,7	試験についての総まとめ			これまでの復習		
8,9	要点チェック			これまでの復習		
10～12	検定対策、模擬試験			これまでの復習、過去問		
13～16	ドレープを使用したパーソナルカラー診断			講義、相モデルでの実習		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 80%、学習意欲 20% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) とする。				意欲を持って、積極的に授業に参加すること。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	修了制作					【対面授業のみ実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30	
授業概要、目的、授業の進め方	1年間の集大成として、学んだ技術をクラス単位で作り上げ、ショー形式で発表。					
学習目標 (到達目標)	1年間の集大成として、学んだ技術をクラス単位で作り上げ、ショー形式で発表。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	メイク道具、ヘア道具一式					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	修了制作について			過去のステージ発表映像を見せる、テーマ決め、構築		
2	役割決め、衣装・備品制作、実技練習			チームに分かれ制作、練習		
3	衣装・備品制作、実技練習			チームに分かれ制作、練習		
4	衣装・備品制作、実技練習			チームに分かれ制作、練習		
5	校内リハーサル			音楽に合わせて通し練習		
6	前日リハーサル（新潟県民会館）			立ち位置・音響・照明など最終確認		
7	修了制作本番					
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20%				1年間で習得した知識と技術使い、学生主体でクラス一丸となりステージ発表を行う。2年次に行う卒業制作に向けてクラスの協調性を高める。		
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	卒業制作					【対面授業のみ実施】
担当教員	武美幸、大島莉奈			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30時間	
授業概要、目的、授業の進め方	2年間で習得した知識と技術(メイク、ヘアアレンジ、ネイル等)を活かし、学生主体で企画構成をしたヘアメイクショーを作りステージ発表をする。					
学習目標 (到達目標)	2年間で習得した知識と技術(メイク、ヘアアレンジ、ネイル等)を学生主体で企画構成をしたヘアメイクショーを作りステージ発表をする。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	1年次修了制作での経験と過去の映像やメイク関連授業・ネイル授業など					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	テーマ決定、構成・音楽(BGM)・ライティングを決める。			モデル・技術者・機材等担当を決める。		
2	テーマに沿ってのヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウォーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成			意見を出し合い実際にヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成		
3	ヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウォーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成			グループごとヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成		
4	クラス紹介画像			クラス全員の紹介画像作成		
5	校内リハーサル			本番の時間・音楽・動きをして確認をする		
6	前日会場リハーサル			本番の時間・音楽・動きをして確認をする		
7	卒業制作ショー当日本番			多くの保護者や在校生に向け、2年間の集大成である学習成果をヘアメイクショーとしてステージ発表する		
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				2年間で習得した知識と技術を、学生主体でクラス一丸となりコミュニケーションを図りながら、構成・音楽などすべてを構築して学習の成果をステージ発表する。		
実務経験教員の経歴						

科目名	選択メイク					【対面授業のみ実施】
担当教員	桑由香里、阿部久美子、齋藤和江、木村亜友、田村芽依			実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	69	
授業概要、目的、授業の進め方	1、2年次のコース選択に向けて、メイクセラピー、特殊メイク、ブライダル、メイク(基礎・応用)の授業を行い進級をした際のイメージを膨らませていく。 2、2年次の内容を取り入れ、進級後コースが分かれた際のギャップを少なくする。					
学習目標 (到達目標)	メイクセラピー3級取得					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	テキスト「メイクセラピー入門3級対策」、メイク道具一式、補助プリント 他					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	メイクセラピー(動機付け) / 特殊メイク(傷メイク)			講義 テキストP4~17 / デモ、相モデルでの実習、チェックング		
2	ブライダル(ヘアアレンジ) / 特殊メイク(ボディペイント)			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
3	メイクセラピー(カウンセリング概論)			講義 テキストP18~33		
4	ブライダル(挙式の種類、ブライダルメイク)			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
5	メイク(トレンドメイク)			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
6	ブライダル(ドレスフィッティング)			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
7	メイクセラピー(過去問) / 特殊メイク(死体メイク)			講義 テキストP34~63、過去問プリント / デモ、相モデルでの実習、チェックング		
8	メイク(基礎技術復習)			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
9	メイク(スケールアップ)			デモ、相モデルでの実習、チェックング		
10	メイク(実技試験) / メイクセラピー(検定受験)					
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 80%、学習意欲 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				積極的に実習に取り組み、モデルへの配慮、気遣い、マナーを守ること。毎回、デモ後にはメイクのデッサンを記入する事。		
実務経験教員の経歴		現在もメイクアップアーティスト・ブライダリストとして10~15年間携わっており、基本的メイク技術・知識はもちろん、最新技術・トレンドの指導も可能。				

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	パソコン					【対面授業のみ実施】
担当教員	加賀 大嗣		実務授業の有無			
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	112	
授業概要、目的、授業の進め方	パソコンの基本操作をWord・Excelをベースに学ぶ。					
学習目標 (到達目標)	Word検定3級取得(任意)、Excel検定3級取得(任意)					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Word(2013)クイックマスター基本編、Word技能検定試験問題集3級 Excel(2013)クイックマスター基本編、Excel技能検定試験問題集3級					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
	1年次 Word					
9月	ブラインドタッチ			Word技能検定試験問題集		
10月	ブラインドタッチ			Word技能検定試験問題集		
11月	図の挿入			Word技能検定試験問題集		
12月	表の挿入			Word技能検定試験問題集		
1月	期末テスト「添え状制作」			Word技能検定試験問題集		
2月	Word3級受験			Word技能検定試験問題集		
	2年次 Excel					
前期	表の作り方、関数の入れ方、図の挿入			Excel技能検定試験問題集		
後期	演習問題			Excel技能検定試験問題集		
後期	excel検定試験			Excel技能検定試験問題集		
後期	POPの作成			Excel技能検定試験問題集		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 40%、学習意欲 20%、出席率 40%				社会に出てから必要なスキルになります。		
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	接客マナー					【対面授業のみ実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	27	
授業概要、目的、授業の進め方	基本的な社会人マナーを身に付け、接客接遇を学ぶ。また、後期に実施するモニターサロンに向けての接客のアドバイス、指導を行う。					
学習目標 (到達目標)	基本的な社会人マナーを身に付ける。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	挨拶、表情、身だしなみの重要性			講義、ロープレ		
2	敬語、基本的な社会人マナーについて			講義、ロープレ		
3	これまでの復習、ロープレ			講義、ロープレ		
4	お出迎えからお見送りまでのロープレ			講義、ロープレ		
5～7	モニターサロンに向けたアドバイス、ロープレ			ロープレ		
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 80%、学習意欲 20% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				受講の際は、リクルートスーツを着用し、身だしなみにも気を配る事。また、意欲を持って積極的に授業に参加すること。		
実務経験教員の経歴		マナー講師として10～15年携わっている。				

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	就職実務					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、植木絵美、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	121	
授業概要、目的、授業の進め方	座学形式、グループディスカッション、模擬面接形式、ロールプレイングなど					
学習目標 (到達目標)	就職に対しての心構えを身につける。 就職活動に必要な知識を習得し、採用試験で活かす。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	「実践ビジネスマナー」、「SUCCESS」、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
5月	社会人としての心構え、身だしなみ、敬語			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.8～30		
6月	来客対応、接遇			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.32～55、ロールプレイング		
7月	期末試験対策（敬語、席次について）			「実践ビジネスマナー」、補助プリントに沿って指導		
9月	求職登録について 動機付け、自己分析			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.6～26		
10月	自己PR作成、求職登録票作成			補助プリントに沿って指導、作成		
11月	求職登録面接練習（入退室、受け答え）			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.66～69		
12月	就職活動の流れ、企業研究の仕方			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.14～15		
1月	履歴書の書き方、報告書、提出書類の作成			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.52～58		
2月	企業訪問について（アポイントメント、お礼状）			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.59～64		
4月	就職ガイダンス企業研究			就職ガイダンス企業一覧、求人票をみながら研究		
5月	志望動機、自己PRのブラッシュアップ			講義、補助プリントに沿って作成		
6月	面接練習			ロールプレイング、フィードバック		
7月	面接練習			ロールプレイング、フィードバック		
1月	社会人としての心構え、接遇			卒業生の講話、ロールプレイング		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 70% レポート30 % 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				自らの進路に向けて就職意識を持ち、受ける事。 授業で習得したことを日常生活に活用し実践すること。		
実務経験教員の経歴	美容業界で10年現場に携わっていた					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	コミュニケーション実践					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	179	
授業概要、目的、 授業の進め方	人間力の向上のために行う。クラス内でのディスカッションや、団結力・協調性の向上を図っていく。					
学習目標 (到達目標)	人間力育成・向上					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	入学時・進級時オリエンテーション			入学時のコミュニケーションとしてゲーム等を交え実施		
2	学園祭			1.2年次7月 学園祭を通し、よりいっそうのコミュニケーションを図る		
3	大運動会			1.2年次10月 大運動会を通し、協調性の向上を図る		
4	外部セミナー			人間力セミナー、美容セミナー開催		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20%				イベント実施の意味をしっかりと周知させ、参加意欲を上げる様に心掛ける事。		
実務経験教員の経歴						

科目名	総合人間性学習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	86	
授業概要、目的、授業の進め方	人間力向上のために、必要な事柄を学習や体験で身に付けていく。クラス目標の決定やディスカッションなどクラス内の団結力・協調性向上や個人目標の決定・振り返りなど様々な事が鰐をクラス単位の授業として取り組めます。					
学習目標 (到達目標)	人間力、協調性、の向上、個人目標の設定					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学テキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	【1年生】実践行動学 Part1 意欲的な心構えについて			テキストを使い、ディスカッション&記入形式で行う		
2	マジックドア1 夢と目標について			P1～P7 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
3	マジックドア2 誤った思い込みと言ひ訳			P8～P13 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
4	マジックドア3 行動のよりどころと心構え			P14～P22 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
5	マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために			P23～P32 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
6	マジックドア5 目標を設定しよう			P33～P42 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
7	【1年生】国内研修 ホスピタリティーについて			11月 ディズニーランドのホスピタリティーを学ぶ		
8	【1年生】実践行動学 Part2 自分の可能性を広げよう			テキスト使い、ディスカッション&記入形式で行う。		
9	マジックドア1 プラス思考が自分の可能性を大きく広げる			P1～P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
10	マジックドア2 考え方を変えれば行動が変わる			P5～P11 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
11	マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決できる			P12～P19 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
12	マジックドア4 あなたのコミュニケーションを見直そう			P20～P27 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
13	マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる			P28～P36 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
14	【2年生】実践行動学Part3 社会へ出る準備を始めよう マジックドア1 入学から今日までの成長を実感しよう			P1～P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
15	マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう マジックドア3 自分が最大限に活きる働き方とは			P5～P10 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える P11～P14 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
16	マジックドア4 将来を描いてみよう			P15～P20 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
17	マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう			P21～P24 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
18	【2年生】海外研修 グローバルスタンダード教育の一環として、幅広い世界の技術や知識を吸収する。			2年次11月～12月 教育提携校での研修		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20%。				学生の学習意欲が向上するようになぜ必要なのかを、始める前にしっかり導入し、環境を整える事が重要である。		
実務経験教員の経歴						

科目名	ヘアアレンジ					【対面授業のみ実施】
担当教員	鈴木 きい		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	18	
授業概要、目的、授業の進め方	ヘアアレンジの基礎技術と応用スタイルを習得。 ヘア&メイクとしてトータルサービスの技術提案ができるようにする。また、進路選択の幅を広げる。 ウィッグを使用し実践。					
学習目標 (到達目標)	ヘアアレンジの基礎技術と応用スタイル制作の習得					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウィッグ、ヘアアレンジの道具、補助プリント					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	道具の使い方、ブラッシング、パーティング、一束縛り、ピンニング		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
2	スタイル制作「アップスタイル」 (アイロンノ巻き方、散らし方)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
3	スタイル制作「おだんごスタイル」 (すき毛の使い方)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
4	スタイル制作「プライダルスタイル」 (バックコーミングのやり方)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
5	スタイル制作「編み込みスタイル」 (表三つ編み、表編み込の基本)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
6	スタイル制作「編み込み応用スタイル」、「自由制作」 (ロープ編み込、フィッシュボーン)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
学習意欲 60% 課題制作 40% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			ウィッグで制作するが、お客様と想定し施術すること。 習った技術を自主練習や友人知人で実践することで技術の向上を目指すこと。			
実務経験教員の経歴	美容室現場にて11年美容業に携わっていたことから、より現場に近い、使えるの技術指導も可能である。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	ネイル実習 【対面授業と遠隔授業の併用実施】				
担当教員	植木 絵美・水落 眞子		実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	226
授業概要、目的、授業の進め方	①当日のシラバスを伝え、到達目標を確認 ②デモンストレーション ③相モデルで演習・チェック				
学習目標 (到達目標)	ネイリスト技能検定試験3級・ジェル検定初級レベルの技術と知識を身に付け、検定取得をする				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JNAテクニカルシステム ベーシック、JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	教材配布、衛生・消毒・ネイルケアの流れ		JNAテクニカルシステム ベーシックP38、39、70～P73、74		
2	座学		JNAテクニカルシステム ベーシックP8～P29		
3	ネイルケア デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81）		
4	フラットアート デモンストレーション後、チップにて実習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP118～P134）		
5	エンボスアート デモンストレーション後、チップにて実習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP141）		
6	座学		JNAテクニカルシステム ベーシックP38～P67		
7	日本ネイリスト協会名誉本部認定講師 萩原直見先生による特別講義		JNAテクニカルシステム ベーシックP30～36、76）		
8	ネイルカラーリング デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP82～84）		
9	フラットアート 3級用ネイルアート演習		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP124～P127）		
10	相モデルにて両手ネイルケア		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81）		
11	相モデルにて両手ネイルカラーリング		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP82～84）		
12	相モデルにて両手ネイルケアカラーリング		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P84）		
13	ネイリスト技能検定試験3級 要項確認		JNEC主催 ネイリスト技能検定試験要項		
14	ネイリスト技能検定試験3級対策 実習・筆記		実習（JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P84）		
15	ジェルの特性と扱い方・知識		JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P18～P23）		
16	ジェルの塗り方 デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P56～P60）		
17	ジェルアート（ピーコック） デモンストレーション後、チップにて実習		実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P96～P99）		
18	ジェル検定 初級対策 実習・筆記		実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P18～P23、P56～P60、P96～P99）		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験 10 %、実技試験 10 %、学習意欲 70 % レポート 10 % 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			道具の扱い方、手順を学ぶだけでなく、お客様の手の預かり方や誘導の仕方も丁寧かつスマートに扱うことを身に付けます。各章毎での技術の重要な所を教科書で確認し、実習を行いましょう。また、定期テスト、各検定試験合格に向けての練習も重要です。		
実務経験教員の経歴	ネイリストとして現在活躍中。日本ネイリスト協会 本部認定講師であり、検定課題はもちろ現場に必要な知識・技術指導も可能。				

科目名	ネイル実習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	齋藤 明子・植木 絵美・川崎綾子			実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	424	
授業概要、目的、授業の進め方	①当日のシラバスを伝え、到達目標を確認 ②デモンストレーション ③相モデルで演習・チェック					
学習目標 (到達目標)	ネイリスト技能検定試験1級・ジェル検定中級レベルの技術と知識を身に付け、検定取得をする。サロンワークに必要なカウンセリング力と技術力を身に付ける。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JNAテクニカルシステム ベーシック、JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～、co-medicalネイルケア、JNAテクニカルシステム アドバンス、SpaLuceエドューケーターマニュアル					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	教材配布、商材の特徴説明			配布教材を確認しながら、使い方や特徴を伝える		
2	スカルプチュア デモンストレーション後、練習用ハンドで実習			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP38～P49、P60～67）		
3	スカルプチュア デモンストレーション後、相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP38～P49、P60～67）		
4	マシンでのジェルオフ 特徴・操作の仕方 練習用ハンドで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P82～P83）		
5	マシンでのジェルオフ 特徴・操作の仕方 相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P82～P83）		
6	マシンでのネイルケア 特徴・操作の仕方 練習用ハンドで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P86）		
7	マシンでのネイルケア 特徴・操作の仕方 相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P86）		
8	エアブラシの特徴と操作の仕方。デモンストレーション後、チップで実習			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP124～P138）		
9	エアブラシで5本ワンセットのアート作品を制作			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP124～P138）		
10	ジェル フレンチネイル デモンストレーション後、チップで実習。相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P93～P95）		
11	足のトラブルについて			座学（co-medicalネイルケアP22～P54）		
12	フットケア デモンストレーション後、相モデルで実習			実習（SpaLuceエドューケーターマニュアルP1～P15）		
13	ネイリスト技能検定試験1級 要項確認			JNEC主催 ネイリスト技能検定試験要項		
14	ネイリスト技能検定試験1級対策 実習・筆記			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP38～P49、P60～67）		
15	ジェル グラデーションネイル デモンストレーション後、チップで実習。相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P89～P91）		
16	ジェル スカルプチュア デモンストレーション後、相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P63～P66）		
17	ジェル検定 中級対策 実習・筆記			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P89～P91、63～P66、P93～P95）		
18	サロンシュミレーション実習			実習（入店～退店までのロープレ）		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 10%、実技試験 10%、学習意欲 70% レポート 10%				プロネイリストとして求められる技術力・接客力を身に付けるために、確認や復習をしっかりと行いながら実習授業を受けましょう。そして、言葉遣いや立ち振る舞いなども接客する上でとても重要です。また、各種検定合格に向けての練習も重要です。		
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴	ネイリストとして現在活躍中。日本ネイリスト協会 本部認定講師であり、検定課題はもちろん現場に必要な知識・技術指導も可能。					

科目名	ヘアアレンジ					【対面授業のみ実施】
担当教員	鈴木 きい		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	18	
授業概要、目的、授業の進め方	ヘアアレンジの基礎技術と応用スタイルを習得。 ヘア&メイクとしてトータルサービスの技術提案ができるようにする。また、進路選択の幅を広げる。 ウィッグを使用し実践。					
学習目標 (到達目標)	ヘアアレンジの基礎技術と応用スタイル制作の習得					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウィッグ、ヘアアレンジの道具、補助プリント					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	道具の使い方、ブラッシング、パーティング、一束縛り、ピンニング		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
2	スタイル制作「アップスタイル」 (アイロンノ巻き方、散らし方)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
3	スタイル制作「おだんごスタイル」 (すき毛の使い方)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
4	スタイル制作「ブライダルスタイル」 (バックコーミングのやり方)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
5	スタイル制作「編み込みスタイル」 (表三つ編み、表編み込の基本)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
6	スタイル制作「編み込み応用スタイル」、「自由制作」 (ロープ編み込、フィッシュボーン)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
学習意欲 60% 課題制作 40% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			ウィッグで制作するが、お客様と想定し施術すること。 習った技術を自主練習や友人知人で実践することで技術の向上を目指すこと。			
実務経験教員の経歴			美容室現場にて11年美容業に携わっていたことから、より現場に近い、使えるの技術指導も可能である。			

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	フェイシャル理論					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村 亜友			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	33	
授業概要、目的、 授業の進め方	メイクのベースである肌。肌の知識の基本を学ぶことでメイクスキルの向上を目指します。 前期：理論 後期：実技					
学習目標 (到達目標)	皮膚の構造を知る。クレンジングの基本を学ぶ。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	補助プリント、フェイシャル実習道具					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	理論 フェイシャルについて			講義 補助プリント		
2	理論 皮膚の構造・自分の肌を分析・発表			講義 補助プリント		
3	理論 皮膚の構造・細胞・血液			講義 補助プリント		
4	理論 皮膚の構造・循環			講義 補助プリント		
5	理論 皮膚の構造/夏休み課題について「モデルさんの肌状態」			講義 補助プリント		
6	理論 皮膚の構造/夏休み課題発表			講義 補助プリント		
7	フェイシャルケアの基本（自分の肌に触れる）			クレンジング手順の解説、相モデル実習		
8	フェイシャルケアの基本（クレンジングと拭き取り）			相モデル実習		
9	フェイシャルケアの基本（クレンジングと拭き取り）			相モデル実習		
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 20%、学習意欲 80% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下) とする。				教材を使用し、肌に異変を感じた場合はすぐに申し出る事。実習 をする際は、モデルへの配慮、気遣い、マナーを守る事。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	サロンマネージメント					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、大島莉奈・田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	159	
授業概要、目的、授業の進め方	各教務・卒業生などの体験談を伝えながら、「働く」ということへの意識付けを行う。ロープレを行いながら、店頭・サロンに立った際のイメージを沸かせる。					
学習目標 (到達目標)	①美容部員・ネイリストの仕事について 店頭・サロンに立ったことを想定し、好感度のある立ち振る舞いは出来るようになる。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	【1年生】様々な美容業界の職種があることを知る			セイファート、リクルートなどの講演		
2	【1年生】サロン体験			各自で希望する店舗やサロンに出向き、観察する。		
3	【1年生】お出迎え～お見送りのロープレ			言葉遣い、誘導の仕方などの実習		
4	【2年生】美容部員・ネイリストの仕事について			現場体験談を教務から伝える		
5	【2年生】1日、1か月、年間のスケジュール、ワークパターンを知る			補助プリントやネットを使い、シーズン毎・年齢層毎のトレンドを知る		
6	【2年生】「愛される美容部員・ネイリスト」として必要なこと			卒業生の話		
7	【2年生】お客様をつかむ店頭・サロンについて			補助プリントを使い、自分のサロンを考えてみる		
8	【2年生】クレーム・トラブルを乗り越えるためには			現場体験談を元に補助プリントにまとめる		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 70%、レポート30% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				現場を知ることが、とても重要です。先生方や卒業生の体験談を聞き、今、自分に不足しているものなどを知ることが大切です。接客に必要な言葉遣いや誘導の仕方、ご提案の仕方などを学びましょう。そのために、実際に店舗やサロンに行くなどし体験することも大きな学びを得ることが出来るでしょう。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	モニター実習					【対面授業のみ実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	71	
授業概要、目的、 授業の進め方	①店長決め ②サロン名・メニュー決め ③準備物の作成					
学習目標 (到達目標)	クラスで協力し、サロンを運営する。積極性・責任感・協力することを学ぶ。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	【1年生】店長決め、サロン名・メニュー決め			学生ミーティング		
2	【1年生】準備物の作成			実習・制作		
3	【1年生】ロープレ			実習		
4	【1年生】保護者に対するのモニターサロン運営			実習		
5	【1年生】在校生に対するのモニターサロン運営			実習		
6	【2年生】店長決め、サロン名・メニュー決め			学生ミーティング		
7	【2年生】準備物の作成			実習・制作		
8	【2年生】集客方法			学生ミーティング		
9	【2年生】ロープレ			実習		
10	【2年生】一般の方に対するのモニターサロン運営			実習		
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下) とする。				店長を中心に、話し合いを行いながら進めていきます。報告・連絡・相談・確認の徹底をすることで、クラスが共通認識で準備をすることができます。周囲の様子を見ながら、手伝うのはもちろん声掛けを行うようにしましょう。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	制作実習					【対面授業のみ実施】
担当教員	武美幸・植木絵美・大島莉奈			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	47	
授業概要、目的、授業の進め方	卒業制作に向けての構築・制作					
学習目標 (到達目標)	卒業制作ショーの企画構成					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	1年次修了制作での経験と過去の映像やメイク関連授業・ネイル授業など					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	リーダー選出			クラスから立候補・推薦でリーダーを決定する。		
2	テーマ・ショーの概要構築			意見・要望を出して話し合い		
3	モデル選出			テーマに合ったモデル選出を話し合い決定する。		
4	ヘアメイク・ネイル・衣装構築			担当者・チームに分かれデザインを構築する。		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				リーダーを中心に、話し合いを行いながら進めていきます。報告・連絡・相談・確認の徹底をすることで、クラスが共通認識で準備をすることができます。周囲の様子を見ながら、手伝うのはもちろん声掛けを行うようにしましょう。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	パーソナルカラー					【対面授業のみ実施】
担当教員	平 知香子			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60	
授業概要、目的、授業の進め方	色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1の取得を目指し、カラーの基本的な知識を習得する。またドレープを使用したパーソナルカラーの見極め方も学ぶ。					
学習目標 (到達目標)	パーソナルカラーの基本的な知識と技術の習得。またパーソナルカラー検定モジュール1の取得。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	テキスト「はじめてのパーソナルカラー」、補助プリント、配色カード、カラードレープ					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	パーソナルカラー検定について、パーソナルカラーとは			講義 テキストp 6～17		
2	色が見える条件と感情効果			講義 テキストp 18～25		
3	色のしくみを学びましょう			講義 テキストp 26～41		
4	基本の配色方法とは			講義 テキストp 42～47		
5	フォーシーズンってなあに？			講義 テキストp 52～57		
6,7	試験についての総まとめ			これまでの復習		
8,9	要点チェック			これまでの復習		
10～12	検定対策、模擬試験			これまでの復習、過去問		
13～16	ドレープを使用したパーソナルカラー診断			講義、相モデルでの実習		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 80%、学習意欲 20% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) とする。				意欲を持って、積極的に授業に参加すること。		
実務経験教員の経歴						

科目名	修了制作					【対面授業のみ実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30	
授業概要、目的、 授業の進め方	1年間の集大成として、学んだ技術をクラス単位で作り上げ、ショー形式で発表。					
学習目標 (到達目標)	1年間の集大成として、学んだ技術をクラス単位で作り上げ、ショー形式で発表。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	メイク道具、ヘア道具一式					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	修了制作について			過去のステージ発表映像を見せる、テーマ決め、構築		
2	役割決め、衣装・備品制作、実技練習			チームに分かれ制作、練習		
3	衣装・備品制作、実技練習			チームに分かれ制作、練習		
4	衣装・備品制作、実技練習			チームに分かれ制作、練習		
5	校内リハーサル			音楽に合わせて通し練習		
6	前日リハーサル（新潟県民会館）			立ち位置・音響・照明など最終確認		
7	修了制作本番					
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下) とする。				1年間で習得した知識と技術使い、学生主体でクラス一丸となり ステージ発表を行う。2年次に行う卒業制作に向けてクラスの協 調性高める。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	卒業制作					【対面授業のみ実施】
担当教員	武美幸、植木絵美、大島莉奈			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30	
授業概要、目的、授業の進め方	2年間で習得した知識と技術(メイク、ヘアアレンジ、ネイル等)を活かし、学生主体で企画構成をしたヘアメイクショーを作りステージ発表をする。					
学習目標 (到達目標)	2年間で習得した知識と技術(メイク、ヘアアレンジ、ネイル等)を学生主体で企画構成をしたヘアメイクショーを作りステージ発表をする。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	1年次修了制作での経験と過去の映像やメイク関連授業・ネイル授業など					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	テーマ決定、構成・音楽(BGM)・ライティングを決める。			モデル・技術者・機材等担当を決める。		
2	テーマに沿ってのヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウォーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成			意見を出し合い実際にヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成		
3	ヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウォーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成			グループごとヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成		
4	クラス紹介画像			クラス全員の紹介画像作成		
5	校内リハーサル			本番の時間・音楽・動きをして確認をする		
6	前日会場リハーサル			本番の時間・音楽・動きをして確認をする		
7	卒業制作ショー当日本番			多くの保護者や在校生に向け、2年間の集大成である学習成果をヘアメイクショーとしてステージ発表する		
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				2年間で習得した知識と技術を、学生主体でクラス一丸となりコミュニケーションを図りながら、構成・音楽などすべてを構築して学習の成果をステージ発表する。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	選択ネイル					【対面授業のみ実施】
担当教員	齋藤 明子・水落 眞子		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	69	
授業概要、目的、授業の進め方	①当日のシラバスを伝え、到達目標を確認 ②デモンストレーション ③相モデルで演習・チェック					
学習目標 (到達目標)	ネイリスト技能検定試験2級レベルの技術と知識を身に付け、検定取得をする					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JNAテクニカルシステム ベーシック					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	教材配布、商材の特徴説明		JNAテクニカルシステム ベーシックP98			
2	チップラップ デモンストレーション後、練習用ハンドで実習		実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP107～109、P113～115)			
3	チップラップ デモンストレーション後、相モデルで実習		実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP107～109、P113～115)			
4	ネイリスト技能検定試験2級 要項確認		JNEC主催 ネイリスト技能検定試験要項			
5	ネイリスト技能検定試験2級対策 実習・筆記		実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP107～109、P113～115、P8～61)			
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 20 %、学習意欲 70 % レポート 10 % 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			サロンワークで求められる技術力を身に付けるために、確認をしっかりと行いながら実習授業を受けましょう。そして、決められた時間内に仕上げることも必要なので、時間管理も意識しましょう。また、ネイリスト技能検定試験2級合格に向けての練習も重要です。			
実務経験教員の経歴	ネイリストとして現在活躍中。日本ネイリスト協会 本部認定講師であり、検定課題はもちろ現場で必要な知識・技術指導も可能。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	パソコン					【対面授業のみ実施】
担当教員	加賀 大嗣		実務授業の有無			
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	112	
授業概要、目的、授業の進め方	パソコンの基本操作をWord・Excelをベースに学ぶ。					
学習目標 (到達目標)	Word検定3級取得(任意)、Excel検定3級取得(任意)					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Word(2013)クイックマスター基本編、Word技能検定試験問題集3級 Excel(2013)クイックマスター基本編、Excel技能検定試験問題集3級					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
	1年次 Word					
9月	ブラインドタッチ		Word技能検定試験問題集			
10月	ブラインドタッチ		Word技能検定試験問題集			
11月	図の挿入		Word技能検定試験問題集			
12月	表の挿入		Word技能検定試験問題集			
1月	期末テスト「添え状制作」		Word技能検定試験問題集			
2月	Word3級受験		Word技能検定試験問題集			
	2年次 Excel					
前期	表の作り方、関数の入れ方、図の挿入		Excel技能検定試験問題集			
後期	演習問題		Excel技能検定試験問題集			
後期	excel検定試験		Excel技能検定試験問題集			
後期	POPの作成		Excel技能検定試験問題集			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
実技試験 40%、学習意欲 20%、出席率 40%			社会に出てから必要なスキルになります。			
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						

科目名	接客マナー				【対面授業のみ実施】	
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、植木絵美、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	27	
授業概要、目的、授業の進め方	基本的な社会人マナーを身に付け、接客接遇を学ぶ。また、後期に実施するモニターサロンに向けての接客のアドバイス、指導を行う。					
学習目標 (到達目標)	基本的な社会人マナーを身に付ける。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	挨拶、表情、身だしなみの重要性			講義、ロープレ		
2	敬語、基本的な社会人マナーについて			講義、ロープレ		
3	これまでの復習、ロープレ			講義、ロープレ		
4	お出迎えからお見送りまでのロープレ			講義、ロープレ		
5～7	モニターサロンに向けたアドバイス、ロープレ			ロープレ		
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 80%、学習意欲 20% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				受講の際は、リクルートスーツを着用し、身だしなみにも気を配る事。また、意欲を持って積極的に授業に参加すること。		
実務経験教員の経歴	マナー講師として10～15年携わっている。					

科目名	就職実務					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、植木絵美、大島利奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	121	
授業概要、目的、授業の進め方	座学形式、グループディスカッション、模擬面接形式、ロールプレイングなど					
学習目標 (到達目標)	就職に対しての心構えを身につける。 就職活動に必要な知識を習得し、採用試験で活かす。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	「実践ビジネスマナー」、「SUCCESS」、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
5月	社会人としての心構え、身だしなみ、敬語			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P8～30		
6月	来客対応、接客			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P32～55、ロールプレイング		
7月	期末試験対策（敬語、席次について）			「実践ビジネスマナー」、補助プリントに沿って指導		
9月	求職登録について 動機付け、自己分析			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P6～26		
10月	自己PR作成、求職登録票作成			補助プリントに沿って指導、作成		
11月	求職登録面接練習（入退室、受け答え）			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P66～69		
12月	就職活動の流れ、企業研究の仕方			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P14～15		
1月	履歴書の書き方、報告書、提出書類の作成			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P52～58		
2月	企業訪問について（アポイントメント、お礼状）			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P59～64		
4月	就職ガイダンス企業研究			就職ガイダンス企業一覧、求人票をみながら研究		
5月	志望動機、自己PRのブラッシュアップ			講義、補助プリントに沿って作成		
6月	面接練習			ロールプレイング、フィードバック		
7月	面接練習			ロールプレイング、フィードバック		
1月	社会人としての心構え、接客			卒業生の講話、ロールプレイング		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 70% レポート30 % 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				自らの進路に向けて就職意識を持ち、受ける事。 授業で習得したことを日常生活に活用し実践すること。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	コミュニケーション実践					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	179	
授業概要、目的、授業の進め方	人間力の向上のために行う。クラス内でのディスカッションや、団結力・協調性の向上を図っていく。					
学習目標 (到達目標)	人間力育成・向上					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	入学時・進級時オリエンテーション			入学時のコミュニケーションとしてゲーム等を交え実施		
2	学園祭			1.2年次7月 学園祭を通し、よりいっそうのコミュニケーションを図る		
3	大運動会			1.2年次10月 大運動会を通し、協調性の向上を図る		
4	外部セミナー			人間力セミナー、美容セミナー開催		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20%				イベントの弍るみしっかり周知させ、参加意欲を上げる様に心掛ける事。		
実務経験教員の経歴						

科目名	総合人間性学習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、植木絵美、大島利奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	86	
授業概要、目的、授業の進め方	人間力向上のために、必要な事柄を学習や体験で身に付けていく。クラス目標の決定やディスカッションなどクラス内の団結力・協調性向上や個人目標の決定・振り返りなど様々な事が鰐をクラス単位の授業として取り組みます。					
学習目標 (到達目標)	人間力、協調性、の向上、個人目標の設定					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学テキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	【1年生】実践行動学 Part1 意欲的な心構えについて			テキストを使い、ディスカッション&記入形式で行う		
2	マジックドア1 夢と目標について			P1～P7 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
3	マジックドア2 誤った思い込みと言い訳			P8～P13 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
4	マジックドア3 行動のよりどころと心構え			P14～P22 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
5	マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために			P23～P32 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
6	マジックドア5 目標を設定しよう			P33～P42 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
7	【1年生】国内研修 ホスピタリティーについて			11月 デイズニーランドのホスピタリティーを学ぶ		
8	【1年生】実践行動学 Part2 自分の可能性を広げよう			テキスト使い、ディスカッション&記入形式で行う。		
9	マジックドア1 プラス思考が自分の可能性を大きく広げる			P1～P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
10	マジックドア2 考え方を変えれば行動が変わる			P5～P11 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
11	マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決できる			P12～P19 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
12	マジックドア4 あなたのコミュニケーションを見直そう			P20～P27 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
13	マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる			P28～P36 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
14	【2年生】実践行動学Part3 社会へ出る準備を始めよう マジックドア1 入学から今日までの成長を実感しよう			P1～P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
15	マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは			P5～P10 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える P11～P14 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
16	マジックドア4 将来を描いてみよう			P15～P20 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
17	マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう			P21～P24 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
18	【2年生】海外研修 グローバルスタンダード教育の一環として、幅広い世界の技術や知識を吸収する。			2年次11月～12月 教育提携校での研修		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20%。				学生の学習意欲が向上するようになぜ必要なのかを、始める前にしっかり導入し、環境を整える事が重要である。		
実務経験教員の経歴						

科目名	エステティック実習実習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	原 直美		実務授業の有無	○		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	282	
授業概要、目的、授業の進め方	ボディ技術の習得 お客様への接客・気配りを養う					
学習目標 (到達目標)	修了試験合格を目指す					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト・講師オリジナルテキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
4月	ワゴン・ベッドのセッティングの仕方、モデルの誘導の仕方			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
5月上旬	下肢後面デモ、下肢後面技術			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
5月中旬	背部デモ、背部・下肢後面技術練習			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
5月下旬	背面技術練習			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
6月上旬	背面技術チェック			下肢・背部の相モデルでの技術チェック		
6月中旬	下肢前面デモ、下肢前面技術			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
6月中旬	上肢デモ、上肢・下肢前面技術練習			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
6月下旬	腹部・胸部・頸部・頭部デモ、腹部・胸部・頸部・頭部・上肢技術練習			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
7月上旬	前面技術チェック			下肢前面・上肢・腹部・頸部・胸部・頭部の相モデルでの技術チェック		
9月上旬	背面・前面技術チェック			夏季休暇後の実習授業で技術チェックを行う		
9月～10月	各部位の技術練習			不得意な技術を強化練習する		
11月	トータル技術練習			実技試験の流れで練習する		
12月中旬	修了実技試験			相モデルでの実技試験		
1月上旬	ポイントクレンジングのデモ、ウィックでポイントメイクの練習			オリジナルテキストを使用・ウィックでの実習		
1月中旬	クレンジングのデモ、ウィックでクレンジングの練習			オリジナルテキストを使用・ウィックでの実習		
1月下旬	丸スポンジ・ホットタオルの拭き取り方デモ、ウィックでの拭き取りの練習			オリジナルテキストを使用・ウィックでの実習		
2月	ポイントクレンジング・全体クレンジング・拭き取りの実技練習			オリジナルテキストを使用・相モデルでの実習		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 40%、学習意欲 30% レポート % 出席率 30% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				技術習得はもちろんだが、相手への気配りや心配りも大切な事を意識させる。		
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。					

科目名	エステティック実習実習 【対面授業と遠隔授業の併用実施】				
担当教員	田伏 澄子・原 直美	実務授業の有無	○		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	395
授業概要、目的、授業の進め方	フェイシャル技術の習得と日本スパ・ウエルネス協会ビューティセラピストの実技試験に向け試験対策を行っていく。				
学習目標 (到達目標)	日本スパ・ウエルネス協会ビューティセラピストの実技試験の合格 卒業後サロンで働く際に必要な技術、心配りの習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本スパ・ウエルネス協会テキスト 講師作成テクニックテキスト、使用化粧品成分表				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
4月	ポイントクレンジング、全体クレンジング、拭き取り		講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導		
5月	ポイントクレンジング、全体クレンジング、拭き取り、マッサージ		講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導		
6月	マッサージ、ローションマスクシート		講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導		
7月	マッサージ、肌分析（ウッドランプ、拡大鏡）		講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導		
9月	ディーブクレンジング		講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導		
10月	ディーブクレンジング、電気機器、パック		講師作成テキストを使用し、デモンストレーションを見せ、各自練習しているのを回って指導		
11月	試験対策		ポイントクレンジング～仕上げまで行い修正していく。施術中の口頭試問もおこなっていく		
12月	試験対策		ポイントクレンジング～仕上げまで行い修正していく。施術中の口頭試問もおこなっていく		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験 〇%、実技試験 30%、学習意欲30% レポート 〇% 出席率40% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			フェイシャル技術の基本を身につけることで、サロンに行った際にスムーズにお客様対応が出来るようになるので、1つ1つの意味合いを理解した上で身につけるようにしてください。		
実務経験教員の経歴		エステティシャンとしてサロン経験5~12年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。			

科目名	アロマ 【対面授業のみ実施】				
担当教員	田中 ようこ・田伏 澄子		実務授業の有無	○	
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年間	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	58
授業概要、目的、 授業の進め方	1年次ではアロマセラピーに関する学習 2年次では検定に向けての検定対策授業を行う				
学習目標 (到達目標)	アロマセラピー検定1級合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	アロマ環境協会 公式テキスト1級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アロマセラピーについて		公式テキスト1級P9~18 ルームフレッシュナー		
2	精油の基礎知識		公式テキスト1級P27~37		
3	アロマセラピー利用法		公式テキスト1級P83~110		
4	アロマセラピーのメカニズム		公式テキスト1級P19~26		
5	ハンドメイドソープ		石鹸をつくる実習		
6	アロマセラピーと歴史		公式テキスト1級P135~150		
7	アロマセラピーと健康		公式テキスト1級P111~132・発泡バスソルト		
8	アロマセラピーと地球環境		公式テキスト1級P151~165		
9	アロマセラピーに関する法律		公式テキスト1級P167~174		
10	日本アロマ環境協会について		公式テキスト1級検定について・ハンドトリートメント実 践		
11	検定対策		まとめシートの作成		
12	検定対策		まとめシートの作成		
13	検定対策、アロマトリートメント（手浴）		まとめシートの作成		
14	検定対策、アロマトリートメント（足浴）		まとめシートの作成		
15	検定対策、アロマトリートメント（ボディマッサージ）		模擬テスト		
16	検定対策		模擬テスト		
17	検定対策		模擬テスト		
18	検定対策		模擬テスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験30%、実技試験 %、学習意欲30% レポート % 出席率40%			各精油の効果・効能・注意点をよく理解し効果的に使用してい く。		
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下) とする。					
実務経験教員の経歴	アロマセラピーショップとスクールを経営、現場の知識と技術の指導が可能。				

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	脱毛					【対面授業のみ実施】
担当教員	原 直美		実務授業の有無			
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	19	
授業概要、目的、授業の進め方	技術の習得、安全と衛生に注意し準備・施術を行う					
学習目標 (到達目標)	ワックス脱毛の技術を知る					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	講師オリジナルテキスト					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	ワックス脱毛授業に関する説明		P1～6			
2	施術の流れの説明		P1～6			
3	相モデルで実習		P1～6			
4	相モデルで実習		P1～6			
5	相モデルで実習		P1～6			
6	技術チェック		P1～6			
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 % レポート % 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			実習授業になるので、禁忌事項や使用上の注意事項を理解させて行う。			
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	タイ古式マッサージとは、タイ古式マッサージの歴史				【対面授業のみ実施】	
担当教員	寺尾 奈穂子		実務授業の有無	○		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	25	
授業概要、目的、 授業の進め方	幅広いエステティックのテクニックを知る。					
学習目標 (到達目標)	手技の効果、ツボの位置、体重の掛け方を習得する。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教員のオリジナルテキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	タイ古式マッサージとは、タイ古式マッサージの歴史			講師のオリジナルテキストを使用するP1~12		
2	実技 下肢前面			講師のオリジナルテキストを使用するNO.1~29		
3	実技 後面			講師のオリジナルテキストを使用するNO.30~58		
4	実技 背部			講師のオリジナルテキストを使用するNO.59~86		
5	実技 全身			講師のオリジナルテキストを使用するNO.1~86		
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下) とする。				普段行っているベッドの上ではないので、ツボの位置や体重の掛け方が違うので注意をして行う。		
実務経験教員の経歴	タイ古式サロンを経営、現場の知識と技術の指導が可能。					

科目名	ボディ機器					【対面授業のみ実施】
担当教員	原 直美・田伏 澄子		実務授業の有無	○		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	18	
授業概要、目的、授業の進め方	器械を使用する事でハンドテクニックでは出来ない事を知る。 学校にあるボディに関する機器の種類を使用方法・効果を把握する。					
学習目標 (到達目標)	それぞれの機器を使用して使用方法を把握する。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員のオリジナルテキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	G5機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明			オリジナルテキストP1～6		
2	G5機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明			オリジナルテキストP1～6		
3	G5機器デモンストレーション			オリジナルテキストP1～6		
4	G5機器実習			オリジナルテキストP1～6		
5	G5機器実習			オリジナルテキストP1～6		
6	G5機器実習			オリジナルテキストP1～6		
7	低周波機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明			オリジナルテキストP7～11		
8	低周波機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明			オリジナルテキストP7～11		
9	低周波機器のデモンストレーション			オリジナルテキストP7～11		
10	低周波機器実習			オリジナルテキストP7～11		
11	低周波機器実習			オリジナルテキストP7～11		
12	低周波機器実習			オリジナルテキストP7～11		
13	超音波機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明			オリジナルテキストP12～14		
14	超音波機器の目的・禁忌事項・注意事項・使用方法の説明			オリジナルテキストP12～14		
15	超音波機器のデモンストレーション			オリジナルテキストP12～14		
16	超音波機器の実習			オリジナルテキストP12～14		
17	超音波機器の実習			オリジナルテキストP12～14		
18	超音波機器の実習			オリジナルテキストP12～14		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 0%、実技試験 0%、学習意欲 50% レポート % 出席率 50% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				ハンドテクニックとは違い、電気を使用する為、相モデル同士で十分に注意をさせる。		
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	モニター実習					【対面授業のみ実施】
担当教員	原 直美・田伏 澄子		実務授業の有無			
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	14	
授業概要、目的、 授業の進め方	サロン名・メニュー決め 準備物の作成 ロープレ					
学習目標 (到達目標)	クラスで協力し、保護者の方に向けてサロンを運営する。積極性・責任感・協力することを学ぶ。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	店長決め、サロン名・メニュー決め		学生ミーティング			
2	準備物の作成		実習・制作			
3	ロープレ		実習			
4	保護者に対するモニターサロン運営		実習			
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下) とする。			店長を中心に、話し合いを行いながら進めていく。報告・連絡・ 相談・確認の徹底をすることで、クラスが共通認識で準備する ことができる。周囲の様子を見ながら、手伝うのはもちろん声掛 けを行うようにする。			
実務経験教員の経歴						

科目名	ロミロミ 【対面授業のみ実施】				
担当教員	遠藤 めぐみ	実務授業の有無	○		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	フライタル専攻コース 世界のエステのうちのハワイアンエステロミロミを学び、多様な技術を習得していく。 ロミロミの考え方や歴史を座学にて学び、技術の習得				
学習目標 (到達目標)	ロミロミの意味を理解し、それにあつた技術を習得していく。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	講師作成のテキスト				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ロミロミの歴史について、背面の施術	ロミロミの意味、歴史について、背面の施術 p 1～p 3			
2	前回からの復習～背面の施術	背面の施術 p 1～P6			
3	前回の復習～下肢後面の施術	下肢後面の施術 p 6～p 9			
4	前回の復習～下肢前面、腹部、デコルテの施術	下肢前面、腹部、デコルテ p 9～p 12			
5	トータルで施術	p 1～p 12			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験 0 %、実技試験 0 %、学習意欲 50 % レポート 0 % 出席率50% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) とする。		世界にある色々なエステテクニックは成り立ちに意味があるので、それをよく理解して技術の習得をすると手が目的なあつた手つきになっていきます。			
実務経験教員の経歴	現在もセラピストとして10年勤務。現場の知識と技術の指導が可能。				

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	エステ理論 【対面授業と遠隔授業の併用実施】				
担当教員	原 直美		実務授業の有無	○	
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	87
授業概要、目的、 授業の進め方	エステティシャンに必要な解剖生理学や栄養学を学び、カウンセリングに必要な知識を身につける。				
学習目標 (到達目標)	修了実技試験の口頭試問やカウンセリングでのアドバイスに答えられる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト・人体解剖図				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
4月	エステティック概論・骨・筋肉		ソワンエステティックテキストP9～16、P29～40		
5月	細胞・組織・血液・体液・循環器・免疫・骨・筋肉		ソワンエステティックテキストP10～28、P56～66、P29～40		
6月	呼吸器・泌尿器・内分泌系・栄養		ソワンエステティックテキストP67～77、P93～126		
7月	内分泌系・栄養		ソワンエステティックテキストP74～77、P93～126		
9月	生殖器系・神経系・消化器		ソワンエステティックテキストP82～97、P127～131		
10月	感覚器・皮膚・ホメオスタシス		ソワンエステティックテキストP98～114		
11月	応用・復習				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験 40%、実技試験 %、学習意欲 30% レポート % 出席率 30% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) とする。			エステティシャンにとって解剖生理学を学ぶ事でお客様の施術や アドバイスに必要な事を意識させる。		
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。				

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	エステ理論					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	田伏 澄子			実務授業の有無	○	
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	98	
授業概要、目的、授業の進め方	エステティシャンに必要な皮膚学・化粧品学・栄養学を中心に学び、カウンセリングやコース提案に必要な知識を身につける。					
学習目標 (到達目標)	日本スパ・ウエルネス協会のビューティセラピスト試験の口頭試問が答えられる					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
4月	皮膚の構造、皮膚の生理機能			日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト III p 7～p 23、p 30～p 40		
5月	トラブル別症状			日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト III p 41～p 62		
6月	皮膚科学フェイシャル編			日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト VI p 7～p 39		
7月	皮膚科学フェイシャル編・化粧品の原料・成分			日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト VI p 7～p 40、III p 71～p 88		
9月	基礎化粧品、フェイシャル化粧品			日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト III p 89～p 91、VI p 73～p 93		
10月	栄養学フェイシャル編			日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト VI p 127～p 138		
11月	栄養学フェイシャル編、試験対策			日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト VI p 127～p 139		
12月	試験対策			日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステテックテキスト		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験30%、実技試験 %、学習意欲30% レポート20% 出席率20%				エステティシャンにとって身体のこと、皮膚のこと、使っている化粧品の成分などの知識を身につけることで、お客様に1人1人にあったアドバイスが出来るようになり、より信頼されるエステティシャンになれます。		
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5~12年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。					

科目名	カウンセリング					【対面授業のみ実施】
担当教員	原 直美、田伏 澄子		実務授業の有無			
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	42	
授業概要、目的、 授業の進め方	エステティックの理解、考える力をつける					
学習目標 (到達目標)	修了試験に向けて、アドバイスが出来る状態					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
5月～7月	カウンセリングについての基礎		テキストP115～150使用、カウンセリングの大切さを説明する			
7月	症状別（冷え・浮腫み・セルライトなど）について		テキストP115～150使用、講師が用意したプリントを使用			
9月～11月	実習をしながら相モデルで実際に行う		実習			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50%			エステティシャンとして技術だけではなく、カウンセリングの力が必要な事を意識させる。			
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) とする。						
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	メイク実習					【対面授業のみ実施】
担当教員	木村 亜友			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30	
授業概要、目的、授業の進め方	セルフメイク・相モデルメイクの基礎 エステティシャンらしいメイクの仕方					
学習目標 (到達目標)	メイクの基礎を学ぶ					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ソワンエステティックテキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	デモ・メイクアップの基礎理論・顔分析			ソワンエステティックテキストP7～15		
2	スキンケア・ベースメイクのデモ&実習			ソワンエステティックテキストP16～30		
3	基本テクニック・デモ&実習			ソワンエステティックテキストP16～30		
4	ソフトメイク・デモ&実習			ソワンエステティックテキストP16～30		
5	ソフトメイク・相モデル実習			ソワンエステティックテキストP16～30		
6	ソフトメイク・相モデル実習			ソワンエステティックテキストP16～30		
7	シャープメイク・デモ&実習			ソワンエステティックテキストP16～30		
8	シャープメイク・相モデル実習			ソワンエステティックテキストP16～30		
9	シャープメイク・相モデル実習			ソワンエステティックテキストP16～30		
10	確認テスト					
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 30%、学習意欲 30% レポート % 出席率 40%				相モデルでの実習になるので、相手への気配り等を意識させる。		
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						

科目名	ネイル実習					【対面授業のみ実施】
担当教員	平 知香子			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60	
授業概要、目的、 授業の進め方	ケア・カラーリング・アートの基礎を学ぶ					
学習目標 (到達目標)	ネイル検定3級受験が出来る状態					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	JNAネイルテキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	爪の構造・皮膚科学・ラウンドの説明・道具のセッティングの仕方			JNAネイルテキストP7～28		
2	爪の病気とトラブル・衛生と消毒・ネイルケアのデモ			JNAネイルテキストP30～38		
3	相モデルでのポリッシュオフ			JNAネイルテキストP75		
4	チップでカラーリング・フラットアート			JNAネイルテキストP118～134		
5	相モデルでのポリッシュオフ・チップでカラーリング			JNAネイルテキストP75～82		
6	相モデルでポリッシュオフ・カラーリング・アート			JNAネイルテキストP75～82・P118		
7	相モデルでポリッシュオフ・カラーリング・アート			JNAネイルテキストP75～82・P118		
8	カラーリング・アートタイムトライアル			相モデルでの実習		
9	筆記テスト・カラーリングタイムトライアル			相モデルでの実習		
10	実技テスト			相モデルでの実技テスト		
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 30%、学習意欲 30% レポート % 出席率 40%				相モデルでの実習になるので、相手への気配り等を意識させる。		
成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) とする。						
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	修了制作					【対面授業のみ実施】
担当教員	原 直美			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	14	
授業概要、目的、 授業の進め方	サロン名・メニュー決め 準備物の作成 ロープレ					
学習目標 (到達目標)	クラスで協力し、保護者の方に向けてサロンを運営する。積極性・責任感・協力することを学ぶ。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	店長決め、サロン名・メニュー決め			学生ミーティング		
2	準備物の作成			実習・制作		
3	ロープレ			実習		
4	保護者に対するモニターサロン運営			実習		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50%				店長を中心に、話し合いを行いながら進めていく。報告・連絡・相談・確認の徹底をすることで、クラスが共通認識で準備をすることができる。周囲の様子を見ながら、手伝うのはもちろん声掛けを行うようにする。		
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						

科目名	卒業制作					【対面授業のみ実施】
担当教員	田伏 澄子			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	125	
授業概要、目的、 授業の進め方	各グループに分かれて、サロンコンセプトなど1からサロンを立ち上げ、お客様にサービスを提供していく。 サロン運営を学び、実践的な接客、技術の提供を行い協調性や考えれ行動するスキルを学ぶ。					
学習目標 (到達目標)	サロン運営に必要な企画・運営・提供・分析を身につける					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	スパ・ウエルネス協会 ソワンエステティック理論Ⅰ、Ⅳ					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
11月下旬	サロンコンセプト・企業理念・サロン名・役割決め			学生ミーティング		
12月上旬	売上計画・売上目標決め			学生ミーティング		
12月下旬	準備物の作成・DM発送			制作		
1月	作成物を使ってのロールプレイング			実習		
2月	実践（サロン運営）			実習		
2月下旬	分析			実習、学生ミーティング		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率50% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下) とする。				サロンで働く上で必要な協調性や気づき力を身につけ、就職後即 戦力となれる人財になります。 また、サロン運営で必要な知識や考え方を身につけ、売上に貢献 できる人財になれたり、独立開業する際に役立ちます。		
実務経験教員の経歴						

科目名	ダイエット					【対面授業のみ実施】
担当教員	原 直美		実務授業の有無	○		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	95	
授業概要、目的、授業の進め方	ダイエット検定2級合格 様々な世代のお客様に精通するスリミング知識を習得					
学習目標 (到達目標)	ダイエット検定2級取得 プランニングをして結果を出す					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ダイエット検定2級テキスト					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	ダイエットとは・現代ダイエットの基礎知識、臀部・バスト実技		ダイエット検定2級テキストP29～43 臀部・バストを相モデルで実技			
2	体脂肪の基礎知識、カロリーコントロールの基本、下肢・臀部実技		ダイエット検定2級テキストP45～58 下肢・臀部を相モデルで実技			
3	カロリーコントロールの不確定要素・リバウンドに関して、背部・バスト実技		ダイエット検定2級テキストP60～72 下肢・臀部を相モデルで実技			
4	リバウンドに関して・無理なダイエットを起こす弊害、下肢前面・腹部実技		ダイエット検定2級テキストP73～88 下肢前面・腹部を相モデルで実技			
5	過去問題、G5機器		過去問題を行う 相モデルでG5機器の実習			
6	過去問題		検定対策授業			
7	過去問題		検定対策授業			
9月～11月	スリミング実習、プランニング		ペアになり、期間内で理想体型にする			
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			検定合格が必須の為、合格するようダイエット検定の必要性を意識させる。後期はペアでプランニングをしていくので、結果が大切な事を意識させる。			
実務経験教員の経歴	エステティシャンとしてサロン経験5年間の現場経験があり、基本的技術・知識の他に現場で使える技術・接客等の実践的教育が可能。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	パソコン授業					【対面授業のみ実施】
担当教員	河内 美佐子		実務授業の有無			
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	100	
授業概要、目的、授業の進め方	パソコンの基本操作をWord・Excelをベースに学ぶ。					
学習目標 (到達目標)	Word検定3級取得(任意)、Excel検定3級取得(任意)					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Word(2013)クイックマスター基本編、Word技能検定試験問題集3級 Excel(2013)クイックマスター基本編、Excel技能検定試験問題集3級					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
	1年次 Word					
4月	ブラインドタッチ			Word技能検定試験問題集		
5月	ブラインドタッチ			Word技能検定試験問題集		
6月	図の挿入			Word技能検定試験問題集		
7月	表の挿入			Word技能検定試験問題集		
9月	期末テスト「添え状制作」			Word技能検定試験問題集		
10月	Word3級受験			Word技能検定試験問題集		
	2年次 Excel					
前期	表の作り方、関数の入れ方、図の挿入			Excel技能検定試験問題集		
後期	演習問題			Excel技能検定試験問題集		
後期	excel検定試験			Excel技能検定試験問題集		
後期	POPの作成					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 40%、学習意欲 20%、出席率 40%				社会に出てから必要なスキルになります。		
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	トータルマナー					【対面授業のみ実施】
担当教員	廣川 奈津子		実務授業の有無			
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	18	
授業概要、目的、 授業の進め方	表現力豊かな人を育成、柔軟な感性・身体を育てる					
学習目標 (到達目標)	健康で美しく、知性・気品洗礼されたエステティシャンを目指す					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	エステティシャンの為の運動生理学					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	運動の実際について、ストレッチ			テキストP60～61、P62～67		
2	運動の実際について、身体バランス			テキストP60～61、P62～67		
3	正しい美しい姿勢について、姿勢のポイント			テキストP60～61、P62～67		
4	美しく健康な歩き方について、ウォーキングのポイント			テキストP60～61、P62～67		
5	センスアップセミナー、好印象を与える美しい表情			テキストP60～61、P62～67		
6	挨拶と立ち振る舞い			テキストP60～61、P62～67		
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) とする。				エステティシャンとして技術だけではなく、姿勢や立ち振る舞い なども大切な事を意識させる。		
実務経験教員の経歴						

科目名	サービス接客検定対策					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	原 直美			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	24	
授業概要、目的、授業の進め方	サービス接客実務について初歩的な理解を持ち、基本的なサービスを行うのに必要な知識、技能を持たせる。					
学習目標 (到達目標)	サービス接客検定3級合格					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サービス接客検定3級受験ガイド・過去問題プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	サービススタッフの資質			サービス接客検定3級受験ガイドP12～34		
2	専門知識			サービス接客検定3級受験ガイドP40～55		
3	一般常識			サービス接客検定3級受験ガイドP62～70		
4	対人技能			サービス接客検定3級受験ガイドP74～102		
5	実務技能			サービス接客検定3級受験ガイドP106～123		
6	過去問題			第30・31回の過去問題を行う		
7	過去問題			第32・33回の過去問題を行う		
8	過去問題			第34・35回の過去問題を行う		
9	過去問題			第36・37回の過去問題を行う		
10	過去問題			第38・39回の過去問題を行う		
11	過去問題			第40・42回の過去問題を行う		
12	過去問題			第43・44回の過去問題を行う		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				一般的な接客マナーやサービスに関しての検定なので、エステティックとは少し異なる部分もある事を認識させる。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	サービス接客検定対策					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	田伏 澄子		実務授業の有無			
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	26	
授業概要、目的、授業の進め方	サービス接客検定2級の演習問題を行い、出題傾向につかんでいく。					
学習目標 (到達目標)	サービス接客検定2級合格。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サービス接客検定問題集、模擬問題					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	模擬問題			サービス接客検定問題集		
2	模擬問題			サービス接客検定問題集		
3	模擬問題			サービス接客検定問題集		
4	模擬問題			模擬問題		
5	模擬問題			模擬問題		
6	模擬問題			模擬問題		
7	模擬問題			模擬問題		
8	模擬問題			模擬問題		
9	模擬問題			模擬問題		
10	模擬問題			模擬問題		
11	模擬問題			模擬問題		
12	模擬問題			模擬問題		
13	模擬問題			模擬問題		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 % レポート % 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				接客業をする上でサービス接客を身につけておくと、より顧客満足をいただける接客が出来るようになります。		
実務経験教員の経歴						

科目名	就職実務					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	原直美・田伏澄子			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	115	
授業概要、目的、 授業の進め方	座学形式、グループディスカッション、模擬面接形式、ロールプレイングなど					
学習目標 (到達目標)	就職に対しての心構えを身につける。 就職活動に必要な知識を習得し、採用試験で活かす。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	「実践ビジネスマナー」、「SUCCESS」、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
5月	社会人としての心構え、身だしなみ、敬語			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.8～30		
6月	来客対応、接遇			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.32～55、ロールプレイング		
7月	期末試験対策（敬語、席次について）			「実践ビジネスマナー」、補助プリントに沿って指導		
9月	求職登録について 動機付け、自己分析			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.6～26		
10月	自己PR作成、求職登録票作成			補助プリントに沿って指導、作成		
11月	求職登録面接練習（入退室、受け答え）			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.66～69		
12月	就職活動の流れ、企業研究の仕方			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.14～15		
1月	履歴書の書き方、報告書、提出書類の作成			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.52～58		
2月	企業訪問について（アポイントメント、お礼状）			講義、アンダーライン、プリント記入 「SUCCESS」P.59～64		
4月	就職ガイダンス企業研究			就職ガイダンス企業一覧、求人票をみながら研究		
5月	志望動機、自己PRのブラッシュアップ			講義、補助プリントに沿って作成		
6月	面接練習			ロールプレイング、フィードバック		
7月	面接練習			ロールプレイング、フィードバック		
1月	社会人としての心構え、接遇			卒業生の講話、ロールプレイング		
2年次前期	就職活動の進捗状況により履歴書書き、面接練習			勝つための就職ガイド'success活用・添削		
2年次後期	卒業生の就職先での話を聴いて就職意識を高めていく。			セミナー		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 %、実技試験 %、学習意欲 50% レポート % 出席率 50% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) とする。				自らの進路に向けて就職意識を持ち、受ける事。 授業で習得したことを日常生活に活用し実践すること。 また、就職意識を高め入社してから自分が働きやすい環境作りをしていく。		
実務経験教員の経歴						

科目名	総合人間性学習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	原 直美・田伏 澄子			実務授業の有無		
対象学科	エステティックビューティ	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	86	
授業概要、目的、 授業の進め方	物事の考え方を学び人間力を上げていく					
学習目標 (到達目標)	人間力を上げる					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	実践行動学テキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
	1年次					
4月	実践行動学part1			実践行動学テキスト グループディスカッション		
5月	関東研修			研修		
12月	実践行動学part2			実践行動学テキスト グループディスカッション		
	2年次					
5月	田ノ浦研修			研修		
12月	海外研修			研修		
1月	実践行動学part3			実践行動学テキスト グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20%				グループディスカッションを行うことで自分の意見を相手に伝える力が身に付き、また傾聴力と他を受け止める力を身につけることができます。		
実務経験教員の経歴						